

講義科目名称： 心理学

授業コード： 3C001

英文科目名称：

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
鎌田 依里			

授業形態	講義（14コマ）、演習（1コマ）。講義中、随時10分程度の小演習（個別・グループ）も取り入れる。		担当者
授業計画	第1回	<p>心理学の歴史と方法 本講義のテーマ、講義の展開予定、受講上の注意などについて説明をする。また、心理学の歴史と研究方法について学び、本講義の到達目標について展望する。 key words：哲学における心理学、実験心理学の始まり（ヴェント）、ヴェント批判（ゲシュタルト心理学、行動主義、精神分析）</p>	鎌田依里
	第2回	<p>脳と心理学 脳科学と心理学は密接な関係にある。本講義では、心の働きの基盤となる脳と神経の基礎的な仕組みと働きについて学習する。 key words：人間の脳の構造、脳の働き、高次脳機能障害</p>	鎌田依里
	第3回	<p>心の発達 年齢によって人間の一生を大まかに分け、それぞれの区分における特徴や変化に焦点を当てて、これらの方向性や順序性を明らかにしていく心理学の分野は「発達心理学」とよばれている。本講義では人間の発達の諸側面、子どもの認知発達について学ぶ。 key words：こどもの認知発達（ピアジェ）、こどもの社会性の発達、生涯発達心理学</p>	鎌田依里
	第4回	<p>神経発達症 平成19年度から全国で特別支援教育が開始され、ここ数年の間に神経発達症に関する知識が急速に広まっている。本講義では代表的な神経発達症であるAD/HD、SLD、自閉スペクトラム症の特徴について学び、支援の方法について理解を深める。 key words：神経発達症、AD/HD、SLD、自閉スペクトラム症、特別支援教育</p>	鎌田依里
	第5回	<p>感覚と知覚 人間が外界に適応した行動をとるためには、外界を理解する必要がある。本講義では、我々が外界の情報を受容し、それを利用する手段である感覚と知覚について学ぶ。 key words：感覚、知覚的な体制化、奥行き知覚と知覚の恒常性、錯覚、運動の知覚</p>	鎌田依里
	第6回	<p>学習 一般に学習というと、学校における教科学習を想像するが、心理学において学習とは「経験によって生ずる行動の変容」と定義される。本講義では、行動主義が提唱した学習原理と、社会的学習理論を概観する。 key words：古典的（レスポナント）条件づけ（パブロフ）、オペラント条件づけ（スキナー）、社会的学習理論（バンデューラ）</p>	鎌田依里
	第7回	<p>記憶と思考 感覚・知覚によって入力されてきた情報は、私たちが環境に適応するために使用される。そのためには、情報を効率的に貯蔵し、この使用の方法についての戦略が必要になる。心理学では前者の課程を「記憶」と呼び、後者の課程を「思考」とよぶ。本講義では、人間の記憶と思考の仕組みについて学習する。 key words：記憶のしくみ、記憶の二重貯蔵モデル、問題解決と意思決定、推論</p>	鎌田依里
	第8回	<p>動機づけと情動 人の行動は多様であるが、それぞれの行動には、その行動と結びついた特定の原因があると考えられる。例えば、Aさんが勉強を中断して夜食を食べたのは「空腹だったから」であろうし、また、恋人と別れてBさんが泣いたのは「悲しかったから」であろう。行動の原因と考えられるもののうち、前者のグループは「動機づけ」とよばれ、後者のグループは「情動」とよばれる。本講義では、人間の動機づけと情動について理解を深める。 key words：動機づけと欲求、マズローの欲求階層モデル、感情・情動、表出行動とコミュニケーション、動機づけと情動の病理</p>	鎌田依里

	第9回	<p>性格</p> <p>私たちはそれぞれ、他の人とは違うその人らしい考え方、感じ方、そして行動の仕方（行動様式）を持っている。このような考え方や行動の仕方は、状況の変化にも関わらず、時や場所を越えて、比較的一貫し、安定している。このことから、私たちに、このような個人の独自性と統一性をもたらすものが存在すると考えられ、それは「性格」とよばれる。本講義では性格の代表的な理論である「類型論」と「特性論」や性格の5因子モデルについて学ぶ。講義の後半では、臨床の現場で用いられる性格検査を体験する。</p> <p>key words：類型論，特性論，性格の5因子モデル，性格検査の信頼性と妥当性</p>	鎌田依里
	第10回	<p>対人関係と集団</p> <p>人は生きていく中で、様々な他者と出会い、交流しながら関係を築いていく。人間は本質的に一人では生きていくことのできない存在だからである。しかし、他者とともにあることは、人生を豊かにする半面、様々な苦悩の源泉ともなる。本講義では、私たちが他者をどのようにとらえ、関わっているか、他者からどのような影響を受けているかを学習する。</p> <p>key words：対人認知，対人感情，関係の維持</p>	鎌田依里
	第11回	<p>臨床心理学（1） 精神分析</p> <p>精神分析とは、オーストリアの神経学者フロイトによって創始された人間の心を研究する方法であり、理論であり、精神疾患や不適応の治療法である。本講義では、心理療法としての精神分析を中心に、その基本概念について学習する。</p> <p>key words：意識，前意識，無意識，エス（イド），自我，超自我，エディプス・コンプレックス</p>	鎌田依里
	第12回	<p>臨床心理学（2） 分析心理学</p> <p>分析心理学はスイスの精神医学者カール・グスタフ・ユングによって創始された心理学・心理療法であり、一般にユング心理学として知られている。ユングは当初フロイトから強い影響を受けたが、その理論の違いからフロイトと決別することになる。本講義では、フロイトの理論との比較を通してユングの理論について理解を深める。</p> <p>key words：個人的無意識，普遍的無意識，元型，症状の持つ意味，夢分析</p>	鎌田依里
	第13回	<p>臨床心理学（3） クライアント中心療法</p> <p>カール・ロジャースは20世紀アメリカを代表する心理学者の1人である。ロジャースは人間の本質を善ととらえる人間観に基づき、人間の成長力、主体性を重視し、心理療法を「クライアント中心」に進めていくという大きな変革をもたらした。本講義ではロジャースの生涯をたどり、その理論の変遷について理解する。</p> <p>key words：クライアント中心療法，パーソン・センタード，静かなる革命，受容，共感，自己一致，建設的なパーソナリティ変化が生じるための必要かつ十分な条件</p>	鎌田依里
	第14回	<p>心理療法（1） 「コラージュ療法」演習</p> <p>心理療法とは、「心の問題」に対する心理学の知見を用いた援助である。本講義では、心理療法の中でも「芸術療法」と呼ばれるものの1つである「コラージュ療法」を体験する。</p> <p>key words：心理療法，芸術療法，コラージュ療法</p>	鎌田依里
	第15回	<p>心理療法（2） 箱庭療法</p> <p>箱庭療法はローエンフェルトによって考案され、その後、カルフがユングの考えを導入して発展させ、河合隼雄によって我が国へ導入され、さらに世界中に広がった技法である。本講義では、箱庭療法の分析方法を紹介し、それを応用し、自らが作成したコラージュについて検討を行う。</p> <p>key words：コラージュ療法，箱庭療法，空間象徴</p>	鎌田依里
科目の目的	<p>心理学を学ぶことにより、社会を見つめる感性や現代を生きる人間としての生き方について考える力を養う。自己および他者への理解を深め、社会の中で適応的に生活するために必要な心理学の知識を身に付けることを目的とする。</p> <p>ディプロマポリシー：【多様性理解・尊重】【コミュニケーション・協調】</p>		
到達目標	<p>1. 心理学理論による人間理解を深めるとともに自分について振り返る。</p> <p>2. 心理学的援助の概要と方法について理解し、自らの専門分野に活かす。</p>		
関連科目	<p>【教養・共通基盤科目群】教育学，教育心理学，生命倫理，哲学，人間と宗教，社会学，生活文化と医療，大学の学び入門，大学の学び―専門への誘い―，多職種理解と連携</p> <p>【専門基礎科目群】生理学Ⅰ・Ⅱ，公衆衛生学，医学概論，看護学概論，臨床心理学</p>		
成績評価方法・基準	<p>定期試験（レポート形式・55%）に、毎回の受講後に作成する小レポートの評価（45%）を加味して評価する。小レポートの内容に対するフィードバックは次回の講義の冒頭に行う。</p>		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	<p>準備学習の内容については前回の講義時に指示をする。各単元について、1時間程度の予習・復習を行うことを目安とする。</p> <p>講義資料は、講義の前日までにActive Academyにて配布する。</p>		
教科書・参考書	<p>【教科書】繁栞算男（2018）「公認心理師の基礎と実践2 心理学概論」遠見書房 鎌田依里・峯村優一（2023）「難病療養者のこころ 心理臨床と生命倫理の視点から」創元社</p> <p>【参考書】 適宜、PPTにて配布する、もしくは授業内で紹介する。</p>		
オフィス・アワー	<p>授業の前後</p>		

国家試験出題基準	なし
履修条件・履修上の注意	講義中の私語，スマートフォン・携帯電話の使用，講義と関係のない作業（他の科目の学習等）は禁止します。注意しても止めない場合や，それらの行為が頻回に見られる場合は退室を命じ，その回の講義の出席を認めない場合もあります。
アクティブ・ラーニングの実施	アクティブラーニングをおこなっている
実務経験のある教員による授業	
実務経験	実務経験のある教員が授業をおこなっている
授業の概要	

講義科目名称： 教育学

授業コード： 3C002

英文科目名称：

対象カリキュラム： 2023年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	2単位	選択
担当教員	担当者		
高野 利雄			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 人間の活動としての教育 教育とは何か 人間は教育によって何を達成しようとしているのか 第2回 学習権という人権 義務教育 教育の機会均等 子どもの権利条約 第3回 教育活動の時と場 人間の成長と発達課題 家庭・学校・社会での教育と学習 第4回 学校教育の柱と方法 学習指導要領 教科と特別活動 生徒指導提要 第5回 道徳教育とその位置づけ 特別の教科道徳の開始 道徳をどうとらえるか 第6回 学校教育現場の諸問題 いじめ 不登校 学級崩壊 第7回 教育活動の土台となる信頼関係 良好なコミュニケーション ゴードンメソッド 第8回 さまざまな学習形態 アクティブラーニング シチズンシップエデュケーション 第9回 キャリア教育 自らを生きる・生かす学び 第10回 障害児教育 特別支援教育の考え方と実状 インクルーシブ教育 第11回 家族の変化と教育 貧困格差と教育の課題 虐待への対応 第12回 チームとしての学校 学校保健 スクールカウンセラー スクールソーシャルワーカー 第13回 社会教育と生涯学習 学校以外の学習の場 自分はどこまで学び続けるか 第14回 教育に関する法と制度 福祉 医療 教育の連携 第15回 人生を支える学力とは	高野 高野 高野 高野 高野 高野 高野 高野 高野 高野 高野 高野 高野 高野 高野
科目の目的	教育活動についての学びを通して、看護・医療の対人援助職に必要な教育者の素養を身につける。 【多様性理解・尊重】 【コミュニケーション・協調】	
到達目標	教育の役割を理解し、対人援助職を目指す自らのありようを述べられること。	
関連科目	心理学、教育心理学	
成績評価方法・基準	試験（60％）、随時の提出物と授業への取り組み（40％）	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	前回の資料を熟読し、理解して備えること。1コマあたり4時間を目安とする。	
教科書・参考書	教科書・・・使用しない 参考書・・・講義時に紹介する	
オフィス・アワー	講義の前後	
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意	特になし	
アクティブ・ラーニングの実施	グループ・ディスカッションやグループワークを実施	

	第15回 教育心理学と医療との関係、自己肯定感 これまで教育心理学で学んだことを医療の現場ではどのように活かすかについて改めて検討する。また、自己実現のために何ができるかを検討する。自己肯定感や自尊感情が、人の成長において、効果的な役割を担っていることを知る。またそれら を高める方法について知り、自分自身やその周囲の人に対して、自己肯定感や自尊感情を高めるために何ができるかを具体的に考える。	鎌田 依里
科目の目的	自分や周囲が体験してきた教育を振り返り、その心理的意味を考察することで、人間を理解し、人との関係の取り方や自分自身の有り様を見つめる。【コミュニケーション能力】 【論理的思考・多様性理解】 【知的探求心と創造性】 【社会に貢献する能力】	
到達目標	教育心理学の概要を自分および周囲の人々の体験から理解し、自分自身を考察し、他者との効果的な関係づくりを習得するとともに、支援の必要な子どものための援助方法について習得する。	
関連科目	教育学 心理学 臨床心理学	
成績評価方法・基準	定期試験（レポート形式・55%）に、毎回の受講後に作成する小レポートの評価（45%）を加味して評価する。小レポートの内容に対するフィードバックは次回の講義の冒頭に行う。	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	授業後に復習を45分程度おこなうこと。	
教科書・参考書	【教科書】 鎌田依里・峯村優一（2023）「難病療養者のこころ 心理臨床と生命倫理の視点から」創元社 【参考書】 授業内で適宜、配布する。	
オフィス・アワー	授業前後	
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意	とくになし	
アクティブ・ラーニングの実施	アクティブラーニングをおこなっている	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
岩城 翔平			

授業形態	講義（12回）・演習（3回）	担当者
授業計画	第1回 オリエンテーション・目標の設定と達成 受講のルール説明、全15回の流れを解説。自身の大学生活についてのアフターセッションを行い、準備学習の課題を設定する。	岩城 翔平
	第2回 健康とスポーツの関わり 健康とは、スポーツとは何かを改めて考える。身近なスポーツ環境について学ぶ。	岩城 翔平
	第3回 運動・スポーツを通じたコミュニケーション アリーナでミニ運動会を行う。心と身体の健康と運動・スポーツのつながりについて体感し、考察する。	岩城 翔平
	第4回 生涯を通じた運動・スポーツの実践 人生100年時代に自身の健康とどのように向き合っていくのか検討し、仲間たちと協議する。今後の自身の健康と運動・スポーツの関係について考える。	岩城 翔平
	第5回 トレーニングの基本理論① 筋収縮の様式やトレーニングの代表的手法について学ぶ。	岩城 翔平
	第6回 トレーニングの基本理論② 代表的なトレーニングのバリエーションを学び、体験する。例えば誰しも一度はしたことがある腕立伏せや腹筋にも様々な狙いや意義があることを知る。	岩城 翔平
	第7回 トレーニングと栄養 トレーニング効果を十分に得るために摂取すべき栄養素や摂取方法について学ぶ。	岩城 翔平
	第8回 ウェイトトレーニングの効果と方法論 バーベルやダンベルを用いた代表的なトレーニングの効果と方法を学ぶ。	岩城 翔平
	第9回 トレーニング計画の策定 班活動を行う。それぞれ設定された対象に対して、どのような運動処方をするかについて班で協議し、トレーニングプログラムを作成する。	岩城 翔平
	第10回 トレーニングプログラムのプレゼンテーション① 第9回で作成したトレーニングプログラムを用いて、設定した対象に向けた運動処方の班別プレゼンテーションを行う。	岩城 翔平
	第11回 コーチングの基本理論 コーチングの基本的な理論を学ぶ。前回の発表内容を互いに評価し合い、プレゼンテーションの内容を見直す。	岩城 翔平
	第12回 トレーニングプログラムのプレゼンテーション② 第11回で見直し、改善したトレーニングプログラムの班別プレゼンテーションを実施する。班別プレゼンテーションは演習の成績評価に該当する。	岩城 翔平
	第13回 心の健康・試験説明 心の健康と社会生活におけるコミュニケーション能力の関係について考え、実践する。試験の内容等について説明する。	岩城 翔平
	第14回 講義内容の振り返り・授業内試験実施 これまでの講義を振り返り、要点を解説する。授業内試験は試験の成績評価に該当する。	岩城 翔平
	第15回 試験結果のフィードバック、まとめ 試験の結果についてフィードバックする。本講義で得られた成果を今後どのように生活へ役立てるのかを改めて考え、自身の健康とスポーツのかかわりについて具体的にイメージする。	岩城 翔平
科目の目的	高等学校保健体育において、「生涯にわたり豊かなスポーツライフを継続し、スポーツとの多様な関わり方を状況に応じて選択し、卒業後も継続して実践することができる」素養を身に付けているものとしたときに、高等教育においてはそれを指導したり、自ら組み立てたりするなど健康・スポーツに関する活動を提供する側に回ることができる教養を身に付けるべきである。医療従事者を志す学生として、自身の心身の健康を保持増進することはもとより、家族や仲間、患者、地域社会にも配慮し、健康で豊かな生活を送るサポートができるよう、より実践的な理論を中心に仲間とコミュニケーションをとりながら学んでゆく。本講義内で健康とスポーツに関連する取り組みをとおり、保健医療分野の諸課題を見出し、科学的洞察による的確な判断ができる能力を養う。 【知識・理解・表現】	

到達目標	<p>【心身の健康と様々なスポーツの関わりについて考える】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業内で接する仲間と上手にコミュニケーションが取れるようになる。 ・生涯にわたる健康は自発的な活動により得られることを理解し、さらに自らが発信者となることで周囲の人々へ健康に関する最新の知見を与えられるようになる。 ・身体運動の基本的な理論を理解し、様々なトレーニングが身体に及ぼす影響について考察できるようになる。 ・受ける側から与える側への転換期であることを理解し、様々な学習に対し自律して取り組む必要性を学ぶ。
関連科目	健康スポーツ実技
成績評価方法・基準	<p>演習（35％）：トレーニングの基礎基本について理解があるか、また、発信者として適切な表現方法でプレゼンできているかどうかを、班別プレゼンテーション内で評価する。</p> <p>試験（65％）：これまでの講義内容について理解できているかを測る授業内試験を行う。</p>
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	1日の中で5分間程度、授業中に作成した目標シートを何度も読み返す。 また、学習したトレーニングについて1週間に計40分程度実践し、運動への理解を深める。
教科書・参考書	教科書使用せず。 [参考書] 「生涯スポーツ実践論：第4版」川西正志・野川春夫 編著 市村出版 「NSCAパーソナルトレーナーのための基礎知識」日本語版総監修 森谷敏夫、監修 岡田純一 ※非常に高価、購入必要無。
オフィス・アワー	講義室または体育棟管理室にて、講義の前後。
国家試験出題基準	
履修条件・履修上の注意	数回、運動することがある。 その際は運動するのに適したスタイルで参加すること。
アクティブ・ラーニングの実施	体験学習、グループ・ディスカッション、グループ・ワーク

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
岩城 翔平			

授業形態	実技	担当者
授業計画	第1回 オリエンテーション・からだづくり運動 受講のルール説明、学生自己紹介カードの作成、全15回の流れについて解説。軽強度のHIITトレーニングを行い、今後の授業に向けて身体を慣れさせる。班と班長の決定。	岩城 翔平
	第2回 班編成・安全なスクワットの習得・球技（バレーボール①） HIITトレーニング、アイスブレーキング、バレーボール、球技補助	岩城 翔平
	第3回 第1回「新体力テスト+」実施 新体力テストの種目を若干変更したものを実施する。種目：20m走、立ち幅跳び、反復横跳び、ボール投げ（男子：バスケットボール、女子：ハンドボール）、上体起こし、プッシュアップ、握力、背筋力、長座位体前屈	岩城 翔平
	第4回 班別ミーティング、球技（バレーボール②） アイスブレーキング、班別ミーティング、バレーボール、球技補助	岩城 翔平
	第5回 班別トレーニング①、球技（バレーボール③） アイスブレーキング、班別トレーニング、バレーボール、球技補助	岩城 翔平
	第6回 班別トレーニング②、球技（バドミントン①） アイスブレーキング、班別トレーニング、バドミントン（ダブルス）、球技補助	岩城 翔平
	第7回 班別トレーニング③、球技（バドミントン②） アイスブレーキング、班別トレーニング、バドミントン（ダブルス）、球技補助	岩城 翔平
	第8回 班別トレーニング④、球技（バドミントン③） アイスブレーキング、班別トレーニング、バドミントン（ダブルス）、球技補助	岩城 翔平
	第9回 班別トレーニング⑤、球技（タグラグビー導入） 班別トレーニング、タグを使ったアイスブレーキング、タグに慣れる、ボールに慣れる、ボールハンドリング、効果的なアタックの方法、ディフェンスの方法、ルールの確認	岩城 翔平
	第10回 班別トレーニング⑥、球技（タグラグビー①） タグを使ったアイスブレーキング、班別トレーニング、タグラグビー	岩城 翔平
	第11回 班別トレーニング⑦、球技（タグラグビー②） タグを使ったアイスブレーキング、班別トレーニング、タグラグビー	岩城 翔平
	第12回 班別トレーニング⑧、球技（アルティメット①） フライングディスクを使ったアイスブレーキング、班別トレーニング、アルティメット	岩城 翔平
	第13回 班別トレーニング⑨、球技（アルティメット②） フライングディスクを使ったアイスブレーキング、班別トレーニング、アルティメット	岩城 翔平
	第14回 第2回「新体力テスト+」実施 新体力テストの種目を若干変更したものを実施する。種目：20m走、立ち幅跳び、反復横跳び、ボール投げ（男子：バスケットボール、女子：ハンドボール）、上体起こし、プッシュアップ、握力、背筋力、長座位体前屈 【班制作物提出】	岩城 翔平
	第15回 「新体力テスト+」結果フィードバック、球技 体力テスト結果をフィードバックする。 全体のまとめ、リクエスト球技を実施する。	岩城 翔平
科目の目的	心身の健康の保持増進や回復とスポーツとの関連性を鑑み、自重で行う基本的なトレーニングや、スポーツ活動の企画実践を試みる。本講義では特に社会生活で必要不可欠である心の健康を司る人材となるべく、スポーツ活動における他者への気配りやコミュニケーション能力の向上を重要なテーマの一つとする。 [スポーツを通じた協調性の獲得] 例えば運動能力レベルが異なる集団であっても、寛容さがあれば誰もが積極的にスポーツを楽しむ和を作ることができる。より相手に根差した協調性を意識することで、大学生活だけでなく社会生活においても大切な立ち振る舞い方を醸成する。 [体力向上方法の理解と実践] 自身の体力課題を見極め、班で協力し課題に応じたトレーニングを継続して実施することにより、運動経験がない者でも体力を向上させる達成感を味わうことができるようにする。運動経験がある者においては他者へのアドバイスを通じて、自己の考えを他者へ正確に伝える表現方法を学ぶ。 【コミュニケーション・協調】	

到達目標	<p>【運動、スポーツを通じて心身の健康について考える】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他者を観察し、その心情を察し思いやることを心掛ける（心のトレーニング）。 ・スポーツ参加者全員が楽しめる場や空気の作り方を考え、学ぶ（心のトレーニング）。 ・自身の体力的課題に対して計画的にアプローチし、克服することで、運動習慣が身体機能にもたらす効果を実感する（身体トレーニング）。
関連科目	健康スポーツ理論
成績評価方法・基準	<p>班活動および制作物の提出（60%）：積極的にコミュニケーションを取り活動に取り組んでいるかどうか。</p> <p>第2回体力テスト結果（30%）：課題として設定した項目のスコアが伸びているかどうか。</p> <p>準備学習の実施状況（10%）：設定した課題に取り組んだかどうか。</p> <p>球技の実力の多寡で成績評価はしない。</p>
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	第3回の授業で実施する体力テストの結果を参考に、改善したい体力項目に適したトレーニングやストレッチなどを自宅で実施する。1週間に45分程度。
教科書・参考書	<p>教科書無し。</p> <p>[参考書]</p> <p>「NSCAパーソナルトレーナーのための基礎知識 第2版」日本語版総監修 森谷敏夫、監修 岡田純一 NSCAジャパン</p> <p>※非常に高価、購入必要無。</p>
オフィス・アワー	授業の前後
国家試験出題基準	
履修条件・履修上の注意	<p>スポーツウェア・内履き・タオルが必要。それぞれ高校で使用していたもので可。</p> <p>明らかに運動に適していない服装、外履きでの参加は認めない。</p> <p>蓋付きの飲み物のみ持ち込み可。</p> <p>怪我予防のためピアス・ネックレス等装飾品は外して臨む。</p>
アクティブ・ラーニングの実施	問題解決学習、体験学習、グループ・ディスカッション、グループ・ワーク

講義科目名称： 生命倫理

授業コード： 3C006

英文科目名称：

対象カリキュラム： 2023年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
峯村 優一			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2023年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		

講義科目名称： 哲学

授業コード： 3C007

英文科目名称：

対象カリキュラム： 2023年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	2単位	選択
担当教員	担当者		
峯村 優一			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 イントロダクション 哲学とは何か 宗教と哲学 哲学と社会学・人類学	峯村優一
	第2回 ギリシャ哲学 ソクラテス、プラトン、アリストテレス 【ソクラテス/プラトン/アリストテレス】	峯村優一
	第3回 大陸合理論 ルネ・デカルト 【ストア派/エピクロス】	峯村優一
	第4回 イギリス経験論 (1) ジョン・ロック 【アウグスティヌス】	峯村優一
	第5回 イギリス経験論 (2) ジョージ・バークリー	峯村優一
	第6回 イギリス経験論 (3) デービッド・ヒューム 【ホッブズ/ロック/ルソー】	峯村優一
	第7回 ギリシャ哲学、大陸合理論、イギリス経験論のまとめ (1) ギリシャ哲学、大陸合理論、イギリス経験論の内容の確認 【ロック/バークリー/ヒューム】	峯村優一
	第8回 ギリシャ哲学、大陸合理論、イギリス経験論のまとめ (2) ギリシャ哲学、大陸合理論、イギリス経験論 中間試験 【カント】	峯村優一
	第9回 分析哲学 (1) ルードヴィヒ・ウィトゲンシュタイン 【フィヒテ/ヘーゲル】	峯村優一
	第10回 分析哲学 ソール・クリプキ 【ニーチェ】	峯村優一
	第11回 イギリス経験論の歴史 (1) ロックとバークリー 【フロイト、マルクス】	峯村優一
	第12回 イギリス経験論の歴史 (2) ヒューム 【フッサール、メルロ＝ポンティ】	峯村優一
	第13回 イギリス経験論と分析哲学の歴史 エルンスト・マッハとゴットロープ・フレーゲ 【ハイデガー、サルトル】	峯村優一
	第14回 分析哲学の歴史 ウィトゲンシュタインと論理実証主義 【アーレント】	峯村優一
	第15回 分析哲学、イギリス経験論の歴史、分析哲学の歴史のまとめ 分析哲学、イギリス経験論の歴史、分析哲学の歴史の内容の確認 改めて、哲学とは何か	峯村優一
科目の目的	哲学 (Philosophy) の語源はギリシア語のphilosophia、「知の探求」を意味する。哲学は、人間とこの世界をめぐる最も根本的な諸問題について考える学問である。たとえば、ひとの認識、精神と物体、言葉と真理など、誰もが一度は疑問に感じることがあるだろう。こうした基本的な問題について、代表的な哲学者の思想を参照しながら、みずから考える姿勢を養っていく。【多様性理解の	

	【尊重】
到達目標	1. 哲学の基本的概念を習得し、説明できる。 2. 哲学の諸説を習得し、説明できる。 3. 哲学の基本的概念と諸説を踏まえたうえで、それに対する自説を論理的に展開できる。
関連科目	● 「人間と宗教」、「社会学」、「心理学」、「生命倫理」等の科目と関連を有する。
成績評価方法・基準	● 中間試験（50%）、期末試験（50%）の成績による。 ● 講師からの質問に対し、講義資料の内容を踏まえて的確に返答をする学生を高く評価する。
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	● パワーポイント講義資料を読んで予習する。 ● 講義の場で話を聞くことに集中し、講師からの問いかけに答えられるようにする。 ● 授業後に内容を振り返り、扱われたテーマについて理解する。予習と復習に必要な学習時間は、概ね1～1.5時間程度を目安とする。
教科書・参考書	● 教科書は用いない。講義はパワーポイント講義資料を配布し、それに基づいて行う。
オフィス・アワー	● 個別の相談は、事前の連絡によって随時対応します。
国家試験出題基準	
履修条件・履修上の注意	
アクティブ・ラーニングの実施	講義中のディスカッション

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	2単位	選択
担当教員	担当者		
徳本 善彦			

授業形態	講義	担当者
授業計画	<p>第1回 ガイダンス：「文学」とは何か 日本の近代化と「文学」について歴史的観点から学ぶ。</p> <p>第2回 文学テキストを（読む） 文学作品をテキストとして読む方法について、実践例を通して学ぶ。</p> <p>第3回 寺田寅彦「団栗」を読む 「写実」的な作品を通して、小説世界の時間・空間を整理し小説を立体的に読む。</p> <p>第4回 志賀直哉「焚火」を読む テキストをじっくり読むことで、ストーリーに頼らない小説の読み方を学ぶ。</p> <p>第5回 芥川龍之介「トロッコ」を読む 小説の物語的要素を捉え、小説世界の構造を理解する。</p> <p>第6回 群馬県の作家：萩原朔太郎の詩を読む 日本の近代詩に多大な影響を与えた萩原朔太郎の詩を鑑賞する。</p> <p>第7回 川端康成「葬式の名人」を読む 小説に書かれた、言葉の身体／身体という言葉について考える。</p> <p>第8回 野上弥生子「茶料理」を読む ストーリーに抗って読むことで、小説の表現形式の特徴を理解する。</p> <p>第9回 小レポート：矢田津世子「茶粥の記」 矢田津世子「茶粥の記」を事前に読んだ上で、授業内小レポートに取り組む。</p> <p>第10回 解説：矢田津世子「茶粥の記」を読む 小レポートの講評と、課題小説の読解の一例を解説する。</p> <p>第11回 坂口安吾「真珠」を読む 戦争と文学について、歴史的事実が物語として受容される過程を読み解く。</p> <p>第12回 戦後詩を読む 『荒地』や『権』といった戦後の現代詩誌を中心に現代詩について学ぶ。</p> <p>第13回 石牟礼道子「死民たちの春」を読む 経済成長と公害、東京と地方など戦後社会の問題を文学を通して考える。</p> <p>第14回 古井由吉「祈りのように」を読む 小説の中でハッキリと語られないものについて、語りの形式に注目して読解する。</p> <p>第15回 村上春樹「アイロンのある風景」を読む とらえようのないものを比喩を通して語ること、災害と文学について考える。</p>	徳本善彦 徳本善彦 徳本善彦 徳本善彦 徳本善彦 徳本善彦 徳本善彦 徳本善彦 徳本善彦 徳本善彦 徳本善彦 徳本善彦 徳本善彦 徳本善彦 徳本善彦
科目の目的	<ol style="list-style-type: none"> 1. 文学作品を読み、不明な事柄を調べることで当時の時代状況や社会問題などを理解する。 2. テキストの中に問題を読み取り、深く考えることで筋道の通った読解を見出す。 3. 小レポートの作成を通して、自分の考察を論理的に表現する力を身につける。 【知識・理解・表現】	
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 文学作品の書かれた当時の時代状況からの視点を体験することで、読む視点の複数性を理解する。 2. テキストの中に問題を見出すことを通して、情報を批判的に評価する読解力を養う。 3. 小レポート・期末レポートの作成に取り組むことで、自分の意見を客観的・論理的に表現する技術を身につける。 	
関連科目	芸術・哲学・社会学	
成績評価方法・基準	授業内小レポート（50%）、期末レポート（50%）。	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	<ul style="list-style-type: none"> ・授業前＝講義で使用するテキストを読み問題を整理する。（1.0時間） ・授業後＝授業内容の復習。（0.5時間） 	
教科書・参考書	教科書：使用しない（講義資料は1週間前を目処にActive Academyを通して配布します。各自で印刷して授業に持参して下さい）。	
オフィス・アワー	授業の前後（非常勤講師室）。	
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施	実施なし	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	2単位	選択
担当教員	担当者		
竹村 一男			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 宗教を学ぶにあたって 宗教を学ための必要な基礎的事項について説明する。講義の前半は宗教の種類、宗教の研究分野、さらに、3大宗教について、その概要と現状に言及する。後半は芸術作品や世界遺産の中から宗教に関する画像を中心に紹介する。	竹村 一男
	第2回 宗教本質論 宗教とは何か 過去から現在に至る哲学、神学、心理学などの代表的な思想や、昨今の脳科学は、宗教をどのように解釈してきたかを解説する。更に、最も難解なテーマである「宗教とは何か」について考えてみたい。	竹村 一男
	第3回 キリスト教概説 世界最多の宗教人口をもつキリスト教の教義と歴史、現状について講述する。また、その文化・歴史などを画像を交え解説する。特に新約聖書、福音書の解説については、ジョットの絵画による概要説明を行う。	竹村 一男
	第4回 イスラム教概説 イスラム教の教義と歴史、現状について講述する。その文化・歴史など画像を交え説明する。コーランの記述内容、スンニ派とシーア派の相違点、更に昨今の国際情勢におけるイスラームなどその現状にも言及する。	竹村 一男
	第5回 仏教概説 仏教の教義と歴史、現状について講述し、その文化・歴史や伝播の経緯など画像を交え説明する。インドにおける仏教の成立と展開を中心に、中国仏教、南伝仏教、チベット仏教にも言及する。	竹村 一男
	第6回 日本の仏教 日本の仏教の教義と歴史、現状について講述する。日本への仏教の伝来とその展開、各宗派による仏教思想の比較などを中心に解説し、更に寺院建築や仏像、曼荼羅など仏教文化遺産についても画像を交え解説する。	竹村 一男
	第7回 日本の民俗宗教 日本の宗教の基層をなす民俗宗教について、祖霊信仰や民俗神道、神社神道などを中心に、その文化と歴史について講述する。日本の民俗宗教には様々な儀礼や祭祀が含まれるが、仏教との神仏習合も多々みられる。それらの特徴的な事例についても、画像を交え紹介する。	竹村 一男
	第8回 世界の民族宗教 特定民族に受け継がれる民族宗教ユダヤ教とヒンドゥー教について、その文化・歴史などを講述する。ユダヤ教はキリスト教・イスラム教の、ヒンドゥー教は仏教の起源となった宗教であるが、現在においても多数の信徒をもつ。その経緯と、なぜ民族の枠内に留まったかについて解説し、旧約聖書の記述については、地球環境史との関係もふまえて、画像を交え解説する。	竹村 一男
	第9回 中国の民族宗教 中国の民族宗教である儒教と道教について、その文化・歴史など画像を交え講述する。特に儒教については礼教（道徳）面が強調されることが多いが、その宗教面についても解説する。さらに、両宗教が日本に与えた影響などにも言及する。	竹村 一男
	第10回 新宗教 1830年代以降に成立した新宗教について、天理教、創価学会、モルモン教会を例に、その概要と歴史、教義について講述する。現在はこれらの新宗教も多くの信徒を持つに至り、家庭の宗教として信仰される例も多い。上記以外の幾つかの宗教団体、海外の新宗教などについても画像を交え解説する。	竹村 一男
	第11回 宗教と科学 宗教研究の事例 宗教を対象とする研究には、神学などの信仰者の視点によるものと、比較宗教学のように中立的な視点からのものがある。本講座は後者に属するが、ここでは比較宗教学、宗教社会学、宗教心理学などの中立的な社会科学の視点からなされてきた研究学説について解説する。さらに、反社会的教団の特徴や、講師の研究事例なども交えて講述する。	竹村 一男

	<p>第12回 宗教と文化・芸術 宗教文化と芸術について講述する。古来より、宗教は芸術にも様々な影響を及ぼしてきた。その中で、特に美術と音楽、舞踊について、画像や映像を参考に解説する。また、宗教史跡、宗教建造物などの文化遺産にも言及する。</p> <p>第13回 グローバル化と宗教 グローバル化が進む現在における宗教の諸問題について解説する。現状の宗教動向に加え、反社会的教団による事件、IS問題、民族紛争などの事例について講述する。</p> <p>第14回 宗教と医療 宗教と医療に関する歴史や現状の諸問題について講述する。宗教団体と医療組織、特定教団の教義と輸血問題、終末医療などの医療現場における宗教の事例についても紹介する。</p> <p>第15回 神話・文学における宗教、及びまとめ 前半は、内村鑑三の宗教について講師の事例研究も交え講述する。後半は、聖典などに見られる印象的な言説や、文学作品における記述の紹介と、全講義のまとめを行う。</p>	<p>竹村 一男</p> <p>竹村 一男</p> <p>竹村 一男</p> <p>竹村 一男</p>
科目の目的	<p>宗教は私達の身近に存在する。多くの家庭には仏壇や神棚が置かれ、年中行事や冠婚葬祭も宗教により執り行われる。旅行などで各地に足を運ぶと、おおよそ神社仏閣、宗教施設が存在しない地域はない。その一方で、宗教戦争の様相を呈した民族紛争がニュースに登場することも多い。本講義においては、このように多くの諸相において人間に関わりをもつ「宗教」とは何かについて考え、さらに様々な宗教を取上げ、その教義、歴史、さらに文化社会的側面について講述する。宗教理解は私達人間の理解、さらに文化・社会の理解にも繋がる。</p> <p>なお、本講義は特定の宗教の視点によるものではなく、中立的な観点から広範に宗教を扱う。受講生各自の宗教観は人それぞれであろうが、医療現場における患者（被治療者）の宗教観も様々であるため、医療者には中立的かつ広範な視点での宗教理解が必要となってくる。医療に携わろうとする者はそのことを理解したうえで、私達人間に与えられた生命をまもること、与えられた生命をよりよく生きることが大切かと考える。【多様性理解・尊重】</p>	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ● それぞれの宗教を比較し、その歴史や教義、死生観などを分析、説明することが出来る。 ● 宗教にかかわる文化や時事問題などを理解し、適切に説明することが出来る。 ● 将来の医療現場において、患者や関係者の宗教観を理解し、適切かつ発展的な行動がとれる。 	
関連科目	哲学 心理学 社会学 芸術	
成績評価方法・基準	定期試験（100%）	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	<p>1時間程度（計15回15時間）、講義内容の再確認と復習を行う。より深く学びたい受講生には、興味のある教典・聖典や、宗教に関連した文学作品などの読書に加えて、比較宗教学による文献の読解もお勧めする。最初は簡単な概説書でもよいが、以下に推薦文献をあげる。文献例：『イスラーム文化』井筒俊彦（岩波文庫）、『ヒンドゥー教』森本達雄（中公新書）、『儒教とは何か』加地伸行（中公新書）、『神道とは何か』伊藤 聡（中公新書）、『日本の民俗宗教』宮家 準（講談社学術文庫）、『世界の宗教』岸本英夫編（大明堂 絶版）、『森林の思考・砂漠の思考』鈴木秀夫（NHKブックス）、『現代医学と宗教』日野原重明（岩波書店）など。また、信仰者以外の人にとっては「聖書」や「コーラン」は難渋な書物であろうが、聴講によって基礎知識を得た後に読むと、理解が変わってくる。</p>	
教科書・参考書	<p>教科書 使用しない。毎回、講義用のプリントを配付する。</p> <p>参考書1 『共同訳聖書』（日本聖書協会）</p> <p>参考書2 『ブッダの言葉』中村 元訳（岩波文庫）</p> <p>参考書3 『コーラン』井筒俊彦訳（岩波文庫）</p>	
オフィス・アワー	講義終了後の教室。または講師出校時の非常勤講師室。	
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意	毎回、講義用のプリントを配付しますが、同じものを事前にActive Academyにアップロードしておきます。	
アクティブ・ラーニングの実施	授業形態としての実施はなし。出席票での質問、口頭での質問は、毎回受け付ける。	

講義科目名称： 芸術

授業コード： 3C010

英文科目名称：

対象カリキュラム： 2023年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	2単位	選択
担当教員	担当者		
東 晴美			

授業形態	講義	担当者
授業計画	<p>第1回</p> <p>ガイドランス：オペラ、歌舞伎から現代演劇まで。舞台芸術の幅広さと、他の芸術ジャンルとの交流 舞台芸術は、言語、音楽、身体、美術などの要素を備えた総合芸術であることを紹介します。また、舞台芸術が様々なジャンルの芸術と深い関係があることを理解し、その上で舞台芸術を学ぶ意義について考えます。</p>	東 晴美
	<p>第2回</p> <p>ドラマ（物語）：創作された物語から、証言まで ギリシャ悲劇やシェイクスピアの作品において、ドラマはどのような構造を持っているかを考えます。またそのようなドラマを突き崩そうとしたベケットの作品や、ストーリーテリングや証言などポストドラマとしての現代演劇の取り組みを紹介します。</p>	東 晴美
	<p>第3回</p> <p>劇場：社会と劇場、劇場と舞台芸術の関係 ギリシャ劇場から額縁舞台を経て、現代に至る劇場の変遷が、西洋の舞台芸術の歴史と呼応していることを学びます。また、舞台芸術における劇場の役割を考察します。</p>	東 晴美
	<p>第4回</p> <p>観客：もう一人の作り手として 舞台芸術の観客は、他の芸術と異なり物語をともに作りあげる存在でもあります。舞台芸術と観客の関係性について、ギリシャ時代から現代までの変遷を考えます。</p>	東 晴美
	<p>第5回</p> <p>身体：身体文化とことばの関係 俳優によって登場人物が表現されるリアリティについて、近代に絶大な影響を与えた俳優訓練法・スタニスラフスキーシステムを例に考察します。また、物語をつむぎだす言葉と身体の関係性を再考する実践も紹介します。</p>	東 晴美
	<p>第6回</p> <p>ジェンダー：演じる性と演じられる性（小レポート） 演じる性として女優について考察します。また、舞台芸術では女性をどのように表現してきたか、演じられる性についても紹介します。翌週にレポートについてコメントをします。</p>	東 晴美
	<p>第7回</p> <p>能：物語のビジュアルイメージ化 能楽の基礎について学びます。また物語がビジュアルにイメージ化され定着していくことを平家物語を題材にした作品を例に考えます。また、600年前に生まれた芸能が、今もなお息づいている理由に迫ります。</p>	東 晴美
	<p>第8回</p> <p>狂言：笑いの表現 笑いは文化を象徴するキーワードです。笑いの芸能である狂言の基礎について学びます。またシェイクスピアの作品をもとにした新作狂言など、狂言師の新しい挑戦を紹介します。</p>	東 晴美
	<p>第9回</p> <p>歌舞伎：現代に生きる古典芸能 歌舞伎の基礎について学びます。歌舞伎は冷凍保存された古典ではなく、常に同時代のエンターテインメントであろうとしています。能の物語を継承しながら、江戸時代としての現代劇として再生した「京鹿子娘道成寺」を例に考えます。</p>	東 晴美
	<p>第10回</p> <p>文楽：人形の表現と語る表現（小レポート） 文楽の基礎について学びます。北野武の映画「ドールズ」を紹介しながら、今日における文楽の可能性を考えます。翌週にレポートについてコメントをします。</p>	東 晴美
	<p>第11回</p> <p>ゲームと物語：日本の物語の再生 日本の歴史上の人物の伝記がゲームのコンテンツとなり、さらにその物語が、アニメ、漫画、舞台へと展開しています。このような流れを例に取りながら、日本の物語の新たな再生について考察します。</p>	東 晴美
	<p>第12回</p> <p>アニメ・マンガ：絵画と文学、舞台メディアの交流史 欧米と異なり、大人も愛する日本のマンガ文化について、江戸時代における絵画、文学、演劇のメディアミックス文化を源流として考察します。また、能や、歌舞伎など日本の伝統的なコンテンツがどのようにアニメやマンガに取り入れられているかを探求します。</p>	東 晴美

	<p>第13回 「ライオンキング」と文楽 文楽の人形の技術は、世界的にも大きなインパクトを与え続けています。「ライオンキング」や「キングコング」など、文楽にインスパイアされた表現を紹介します。</p> <p>第14回 2.5次元ミュージカル 現代日本では、舞台芸術、アニメ、ゲームなどが、メディアの垣根を越え縦横に入り交じりつつあります。代表例として漫画「テニスの王子様」のアニメ、ゲーム、ミュージカル化を紹介します。また、二次創作と日本の著作権意識の源流について考察します。</p> <p>第15回 まとめ:ひろがる芸術の世界 ボーカロイド初音ミクによる近松門左衛門作「曾根崎心中」の道行きのパフォーマンスを例にとりながら、新しいメディアと既存の文化との関係について考察します。これまでの授業について振り返り、ポイントを整理します。その上で、講義全体を振り返ったレポートを書いてもらいます。</p>	東 晴美 東 晴美 東 晴美
科目の目的	<p>この授業では、オペラ、歌舞伎から現代演劇までを含む舞台芸術を例にとり、芸術について学びます。</p> <p>まず、他の芸術と異なる舞台芸術ならではの特色について、西洋舞台芸術の歴史を通して考えます。</p> <p>次に、西洋とは異なる独自の発展をとげた日本の舞台芸術を概観します。また、難解だと思われるがちな古典芸能の鑑賞のポイントも紹介します。</p> <p>最後に、漫画、アニメ、ゲーム、ミュージカルなどの現代の表象文化を、芸術の視点から考察します。</p> <p>これまでに舞台芸術が扱ってきたテーマを通して、人と社会に深い関心を持って、社会人としての教養を身につけます。【知識・理解・表現】</p>	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・舞台芸術を例に、芸術学の基本を学ぶ。 ・日本の芸能の特色を学ぶ。また、伝統芸能は、江戸時代以前の文化でありながら、近代以降も同時代の文化の影響も受けていることを理解する。 ・現代のメディアに、伝統的なコンテンツがどのように取り入れられているかを学ぶ。 ・舞台芸術が扱っているテーマを通して、人と社会に深い関心を持つ力を身につける。 	
関連科目	社会学	
成績評価方法・基準	授業中の小テスト（2回）各20%、期末教場レポート20%、授業中リアクションペーパー40%	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	新聞、雑誌、テレビなどで紹介される舞台芸術や芸能に関する情報に関心を持つことがのぞましい。授業中のアンケートや授業後のレポートを提出に備えて1時間程度の学習をすることが望ましい。	
教科書・参考書	webポータルシステムにて講義資料をデータで配布(授業日前にデータを掲載、授業終了後1週間はダウンロード可)	
オフィス・アワー	木曜日 12:30～13:00	
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意	各テーマと、自分が現在関心をもっていることと関連づけながら学ぶことを求めます。	
アクティブ・ラーニングの実施	発見学習（教員が示した芸術の事例をもとに、自分が親しんでる芸術ジャンルの特色を発見し考察する）	

講義科目名称： 法学（日本国憲法含む）

授業コード： 3C011

英文科目名称：

対象カリキュラム： 2023年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	2単位	選択
担当教員	担当者		
西川 久貴			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 法学 1 どうして法学を学ぶのか	西川久貴
	第2回 法学 2 法学と生物学のちがいはどのようなものか	西川久貴
	第3回 法学 3 正義って何？	西川久貴
	第4回 法学 4 例題から法的な発想を見てみよう①	西川久貴
	第5回 法学 5 犯罪から法を見てみよう	西川久貴
	第6回 法学 6 例題から法的な発想を見てみよう②	西川久貴
	第7回 法学 7 家族から法を見てみよう	西川久貴
	第8回 法学 8 例題から法的な発想を見てみよう③	西川久貴
	第9回 法学 9 労働から法を見てみよう	西川久貴
	第10回 憲法 1 憲法は何を定めているのか（基本的人権、国民主権、平和主義）	西川久貴
	第11回 憲法 2 強者から干渉や抑圧をされないために（基本的人権 1）	西川久貴
	第12回 憲法 3 行き過ぎた不平等をただすために（基本的人権 2）	西川久貴
	第13回 憲法 4 日本という国の身体の仕組みを見てみる（権力の構造と作用）	西川久貴
	第14回 法学 10 例題から法的な発想を見てみよう④	西川久貴
	第15回 まとめ 法律分野での心構えと日常生活	西川久貴
科目の目的	<p>【多面的な思考・憲法における基本的価値の理解】 私たちが生活し、働く社会は快適かつ便利である反面、現在大変複雑になっています。他方で、本科目が対象とする法は、そのような社会に広く、抜け難く組み込まれています。将来どのような分野に進もうとも、医療や福祉といった分野に限らず、日本国内で法が及ばない分野はないといえるほどです。</p> <p>そして、法の本質は道徳や単なる決まりごととは違います。</p> <p>私たちが社会人として、生き抜いていくためには、単に損か得かというだけの判断では不足です。また相手をどう論破するかという心構えで対処しきれものでもありません。</p> <p>そのため、法学をとおして、法の知識だけでなく、法的な考え方を理解することを目的とします。 【多様性理解・尊重】</p>	
到達目標	<p>1 社会人として複雑な社会を理解し、様々なトラブルや悩みを法的に解決する糸口を見つけられることを目標としています。</p> <p>2 日本国憲法のベースにある人権や法の支配といった価値を学び、その価値をもとに考えられるということを目指しています。</p>	
関連科目	哲学、社会学、経済学	
成績評価方法・基準	筆記試験（短い論述問題含む）により評価（100%）。	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	前回講義内容に関する復習。準備学習に必要な学習時間の目安は30分です。	
教科書・参考書	教科書は使用しません。 参考書：「法学テキストの読み方」大橋洋一（有斐閣） 「高校生のための法学入門」内田貴（信山社）	

	「自分で考えるちょっと違った法学入門（第4版）」道垣内正人（有斐閣） 「法と社会 新しい法学入門」碧海純一（中公新書） 「現代法学入門（第4版）」伊藤正己 加藤一郎編（有斐閣双書） 「憲法（第6版）」芦部信喜 高橋和之補訂（岩波書店）
オフィス・アワー	講義の前後。講義室または講師控室
国家試験出題基準	
履修条件・履修上の注意	講義資料がある場合は、講義の前日までにはActive Academyにアップロードするので、各自プリントアウトのうえ持参ください。
アクティブ・ラーニングの実施	実施なし

講義科目名称： 社会学

授業コード： 3C012

英文科目名称：

対象カリキュラム： 2023年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	2単位	選択
担当教員	担当者		
坂本 祐子			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 社会学とは 社会の成り立ち 個人と集団と社会 第2回 個人の生活の理解 多面的な日常生活のとらえ方 第3回 保健・医療とQOL QOL概念の変遷とその時代背景 現代医療におけるQOL概念の意義 第4回 社会的な健康 健康とは ソーシャル・キャピタルと健康 第5回 家族（1） 家族とは 家族の個人化と多様化 第6回 家族（2） ライフコースの変化と家族 第7回 家族（3） 家族のケア機能 ケアとジェンダー 第8回 家族（4） 児童虐待 ドメスティック・バイオレンス 高齢者虐待 第9回 社会階層 連鎖する貧困 社会的排除 第10回 地域社会（1） 地域社会とは 地域社会の変動とコミュニティ 第11回 地域社会（2） 人々の地域社会との関わり 第12回 地域社会（3） 社会的ネットワークとその意義 第13回 地域社会（4） コミュニティ形成とその諸課題 第14回 集団・組織 フォーマルな組織とインフォーマルな組織 第15回 ふりかえり 社会的存在としての人間 医療と社会情勢の変化	坂本 祐子 坂本 祐子 坂本 祐子 坂本 祐子 坂本 祐子 坂本 祐子 坂本 祐子 坂本 祐子 坂本 祐子 坂本 祐子 坂本 祐子 坂本 祐子 坂本 祐子 坂本 祐子 坂本 祐子 坂本 祐子
科目の目的	<p>現在、日本は人口減少、経済格差や健康格差等多くの課題を抱えており、健康や生活を専門とする医療職は、医療や保健だけでなく、福祉、労働、地域等のあらゆる分野での活躍が期待されている。この科目は、適切な看護技術を提供するだけでなく、社会情勢の変化に注目し、身近な看護に関連する社会の有り様について考えるとともに、人々の生活や家族との関係、地域社会の動向を踏まえた適切な保健医療サービスの提供を可能にする知識の形成を目的とする。【思考・判断・意欲】</p>	
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 社会情勢の変化をとらえ、その社会で生きる個人の生活を考える際には、様々な切り口（家族・ライフスタイル・健康・地域社会とのつながり等）があることが理解できる。 2. 人間にとって社会とは何か、私たちが生きている現代社会のあり方を社会科学的な視点で考察することができる。 3. 専門援助者として、家族の変化や虐待・DV等の暴力にどのように対応すべきか考えることができる。 	
関連科目	法学（日本国憲法含む） 経済学 生活文化と医療 地域ボランティア活動論 生命倫理 環境学 心理学 大学の学び入門 多職種理解と連携	
成績評価方法・基準	講義時間内に、何度か小レポートを実施し、次回講義以降返却。定期試験70%・小レポート30%	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	Active Academyにより資料を配布するので、資料内の不明な用語等を調べてくること。また、前回講義の重要事項を見直しておくこと。日頃から新聞に目を通すことを習慣にし、1週間で4時間半以上を自己学習に必要な時間の目安とする。	
教科書・参考書	使用しない	
オフィス・アワー	授業の前後（場所：非常勤講師室）	
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意	Active Academyにより資料を配布するので（前回講義翌日から当該日まで）、各自講義中に使用できるように準備しておくこと。	

アクティブ・ラーニングの実施	実施なし
----------------	------

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	2単位	選択
担当教員	担当者		
鈴木 英恵			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 オリエンテーション 本講義の目的と到達目標、授業の進め方（第1回から第15回までの講義内容の簡単な説明）についてお話をします。	鈴木 英恵
	第2回 患者にとってのお守り 病院内と病院外（訪問看護・在宅看護）を対象に、医療従事者である臨床看護師、在宅看護師が経験あるいは見聞した患者とお守りのエピソードを紹介し、患者にとってのお守りとはどのようなものか、その特徴について考えてみます。	鈴木 英恵
	第3回 死生観について 人は皆、それぞれ死生観を持っています。ここでは死生観とは何か、を考える時間を設けます。授業の後半部でGWのレポート課題「死生観」の説明をします。あわせてレポートの書き方、文章の組み立て等のお話をします。	鈴木 英恵
	第4回 名づけとキラキラネーム 現代社会では、読み方が困難な子どもが増えてきています。これをキラキラネームと呼びます。医療現場や実生活において、読むのが難しいキラキラネームは問題になっているようです。ここでは伝統的な名づけの方法と、現代におけるキラキラネームの命名方法の特徴を考えます。	鈴木 英恵
	第5回 道祖神と民間信仰 路傍に佇む地蔵、道祖神などの石仏は、人びとの信仰対象（主に病気治癒や旅の神等）として古くから造立されてきました。ここでは近世後期に盛んに造られた道祖神を取り上げ、その信仰内容を説明します。あわせて、現代社会における道祖神の役割も考えてみます。	鈴木 英恵
	第6回 医療民俗学とは？！ 医療民俗学が対象とするのは、世間の人びとが日々の生活の中で経験し、知識として実践してきた医療習俗です。ここでは、医療民俗学の創設と医療習俗の対象となるもののお話をします。	鈴木 英恵
	第7回 医療民俗学にみる年中行事の役割 日本では、それぞれ季節の節目に病魔や災厄を払う年中行事が存在します。ここでは年中行事の意味を考えながら、病い除ける行事や祭りをみていきます。	鈴木 英恵
	第8回 映像鑑賞 盲目の旅芸人瞽女 かつて、越後や北陸地方の村々をめぐる盲目の女性、瞽女さんがいました。幼いころに目を患うと自立した生活を送るために、幼少時から師匠に付いて三味線と唄の技術を身につけました。ここでは、瞽女さんの生活様式をみていきましょう。	鈴木 英恵
	第9回 いのち観と人生儀礼 授業の前半部では、テキストを中心にいのちの捉え方を『徒然草』、熊野観心十界曼荼羅図から人の一生のあり方を考えます。授業の後半部では、人の「いのち」についてじっくり考える時間を持ちます。テキストの内容をもとに、赤子の出生における誕生儀礼を中心にお話をします。	鈴木 英恵
	第10回 課題レポートの説明 本講義では、「生活文化と医療」をテーマにしたレポート課題があります。ここでは、ていねいにレポートの書き方の説明をします。近い将来、皆さんは医療従事者として患者やその家族と接する機会があると考えます。レポートでは、皆さん自身の生活に目を向けてもらい、医療に関連する事柄をまとめてもらいます。	鈴木 英恵
	第11回 病気をめぐる民俗 テキストを中心にお見舞いの品やカレンダーの暦と病気の関係など、病気をめぐる治癒祈願の方法を理解します。あわせて、看取りと臨終についても取り上げます。	鈴木 英恵
	第12回 一日の時間にみる民俗 テキストを中心に、夜の民俗の意味について考えます。また一日の時間、朝・昼・晩の時間の使い方を皆さん自身にも考えてもらいます。また、高齢女性の暮らしを例に、一日の時間の使い方についてみていきます。	鈴木 英恵

	第13回	ものに宿る靈魂 普段私たちが何気なく使うもの、たとえば食事で使う箸にはその人自身の靈魂が宿るといわれています。テキストの内容を中心に、ものに宿る靈魂観とは何かを考えてみます。	鈴木 英恵
	第14回	長寿祝いと老人観 テキストから全国各地の長寿祝いの方法を学びます。高齢化社会を象徴する儀礼の特徴をみていきます。老いと福祉に関する回想法についても理解します。	鈴木 英恵
	第15回	まとめ（看取りと先祖供養） 死の儀礼と伝統的な葬送習俗について、テキストを中心に考えます。ここでは供養とは何かを考え、故人を偲ぶ方法と供養をみていきます。	鈴木 英恵
科目の目的	本講義では、現代医療以前の伝統的な医療習俗を取り上げます。具体的にいうと、伝統的な医療習俗とは民間に伝承する病気の捉え方、治癒の方法など、いわゆる民間療法が対象となります。民間療法は、医師や医療従事者より古くから存在し、私たちの生活に根付いてきました。民間療法の一つに伝統的な医療体系があります。医療技術は日々進歩し病院では科学的な医療が施されますが、その一方で、人は重い病気や完治の困難な病気を抱えると、お守り、お札（護符）など神仏の力に頼り、それらを心の拠り所にしようとします。このように、よりよい健康状態を求めようとする人びとの心意も、伝統的な医療習俗に属します。地域医療の対象となる人びとが病いをどのように考え、日々どのように過ごしているのかを考えていきます。本講義をとおり、現代を生きる人びとの生活から医療との接点を実感し、患者やその家族の精神的な面を考慮できる保健医療従事者になることを目的とします。 【多様性理解・尊重】		
到達目標	現代医療に通じる伝統的な医療習俗を学ぶことは、いまの生活の質を向上させる可能性を持っています。今後、医療従事者を目指す皆さんは赤子から高齢者まで、さまざまな世代の患者やその家族と接するときがきます。伝統的な医療習俗や地域医療の対象となる人びとの生活文化を、知識として有していれば、患者らとの円滑なコミュニケーションを取ることが期待できます。本講義では、「死生観」と「生活文化と医療」に関するレポート課題がありますが、履修者の課題に対する取り組みへの姿勢とその内容を鑑み、成績に反映させます。レポート課題を達成した後、履修者が獲得できる能力は①患者の視点に立って物事をみる力を養うこと、②患者やその家族らの心の動きが理解できることの2点と考えます。医療技術のみならず、患者らの気持ちに寄り添えるような保健医療従事者となる能力の獲得を目標とします。		
関連科目	生命倫理、家族社会学		
成績評価方法・基準	死生観に関するレポート課題（40%）、生活文化と医療に関するレポート課題（40%）、講義内容について理解できているのかを測るミニテスト（20%）を実施します。2つレポート課題（死生観に課するレポート及び、生活文化医療に関するレポート）の提出は必須です。		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	自分の日常生活から、医療や看護、病気などに関連すること（衣食住の面から病気にならないために気を付けていること、病気を治すための治癒祈願、病気にならないように日々心掛けていること、健康維持の方法など）に興味を持ってください。そして日常生活の中から、本講義の名称「生活文化と医療」に関するキーワードを自分で探し出してみてください。講義内で皆さんが考えるキーワードについても、触れていきたいと考えます。人は生きている限り、常に病いと向き合っている生きていきます。皆さんは、自分の身体が体調が悪いとき、あるいは病気や怪我をしたとき、どのような行動をして健康な身体を取り戻すでしょうか。自分自身を含み、身近な人たち（父母、祖父母、友人、知人など）は如何にして病いと向き合い、正常な身体を取り戻しているのかを考えてみましょう。私たちの日常生活を注意深く観察することで、医療との接点を発見しそれに結びつく課題の獲得ができます。それら課題（疑問点）の意味をひとつずついねいに考えることで、「なぜ」という疑問を解決することができます。授業前までに、90分ほど時間をかけてテキストをじっくり読み、授業内容と合わせて自分なりの考えをまとめてみてください。		
教科書・参考書	教科書：『叢書・いのちの民俗学3 生死 看取りと臨終の民俗 ゆらぐ伝統的生命観』 板橋春夫（2019 社会評論社） 参考書1：『図解案内 日本の民俗』 福田アジオ・内山大介・小林光一郎・鈴木英恵・萩谷良太・吉村風編（2019 吉川弘文館） 参考書2：『医療民俗学論』根岸謙之助（1991 雄山閣） 必要に応じて、講義に関する資料を配布します。		
オフィス・アワー	授業の前後（場所：非常勤講師室）		
国家試験出題基準			
履修条件・履修上の注意			
アクティブ・ラーニングの実施	講義では、履修者の能動的な学修への参加を取り入れたアクティブ・ラーニングを行います。そのため自主的な授業参加をもとめ、think, Pair, Shareを重視します。講義内で生活文化と医療に関連する質問を投げかけますので、それに対する自分の意見を考え（Think）を持ってください。そのあとに、隣・前後の履修者と2～3名（Pair）とその内容について話し合ってください。そして、数名の履修者に質問に対する自分の考えを発表してもらい、全体で共有（Share）します。		

講義科目名称： 経済学

授業コード： 3C014

英文科目名称：

対象カリキュラム： 2023年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	2単位	選択
担当教員	担当者		
飯島 正義			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 経済学で何を学ぶのか 経済学を学ぶことの意義、授業内容と進め方、成績評価等について説明します。	飯島 正義
	第2回 経済学の歩み アダム・スミスからケインズまでの流れを取り上げます。	飯島 正義
	第3回 国民経済の仕組み 経済の3主体（家計・企業・政府）とその関係について説明します。	飯島 正義
	第4回 市場メカニズム 市場メカニズムとは何か、市場メカニズムのメリット・デメリットについて説明します。	飯島 正義
	第5回 政府の役割 市場の失敗の是正について説明します。	飯島 正義
	第6回 景気循環 景気循環とは何か、日本の「景気指標」を読んでいきます。	飯島 正義
	第7回 物価 物価とは何か、物価指数、インフレ・デフレと私たちの生活について説明します。	飯島 正義
	第8回 金融政策と経済の安定化 金利政策、公開市場操作政策、預金準備率操作政策、ゼロ金利政策、金融の量的緩和等について説明します。	飯島 正義
	第9回 財政政策と経済の安定化 税制、財政支出、日本の財政状況について説明します。	飯島 正義
	第10回 国内総生産（GDP）（1） 国内総生産とは何か、三面等価の原則について説明します。	飯島 正義
	第11回 国内総生産（GDP）（2） 「国民経済計算」（内閣府）のデータを読んで日本のGDPの状況を確認します。	飯島 正義
	第12回 経済成長 経済成長とは何か、成長の要因、日本の経済成長の推移を確認します。	飯島 正義
	第13回 貿易・国際収支 貿易に関する理論、国際収支とは何か、「日本の貿易・国際収支の現状を国際収支表」で確認します。	飯島 正義
	第14回 為替レート 為替レートとは何か、為替レートの変動と日本経済への影響について説明します。	飯島 正義
	第15回 少子高齢化と日本経済 少子高齢化とは何か、少子高齢化が今後の日本経済にどのような影響を及ぼすのかについて説明します。	飯島 正義
科目の目的	経済学は、私たちの経済生活の中に存在する本質を明らかにすることを目的とした学問です。したがって、経済学を学ぶということは、私たちの経済生活そのものを知ることにつながります。【知識・理解・表現】	
到達目標	1. 経済学の基礎知識を身につけることができます。 2. 経済学の基礎知識を使って、現実の経済ニュース等を理解できるようになります。	
関連科目	特にありません。	
成績評価方法・基準	授業内における復習プリント40%（3～4回、授業資料参照可）、授業内試験60%で総合的に評価します。 なお、復習プリントのプリントは授業時に回収し、次週返却します。	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	授業資料で前回の授業内容を復習すると共に、次回の授業内容をシラバス、Web上の資料で大筋をつかんでおいて下さい。その際、授業で紹介する参考文献等を利用して2時間復習・予習にあてて下さい。	
教科書・参考書	教科書は使用しません。授業ではWebに添付する資料を使います。また、参考書については必要に応じて紹介します。	
オフィス・アワー	授業の前後の時間に講師室で対応します。	
国家試験出題基準	該当しません。	

履修条件・履修上の注意	授業資料をWeb上に添付しますので、各自印刷して持参して下さい。なお、資料の添付期間は前回授業翌日から2週間とします。
アクティブ・ラーニングの実施	実施なし。

講義科目名称： 地域ボランティア活動論

授業コード： 3C015

英文科目名称：

対象カリキュラム： 2023年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
一柳 大輔			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2023年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		

講義科目名称： 環境学

授業コード： 3C016

英文科目名称：

対象カリキュラム： 2023年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	2単位	選択
担当教員	担当者		
西菌 大実			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 環境とは 環境問題の範囲と背景、SDGs 第2回 地球の環境の構造 地球の自然の成り立ち 第3回 生活を支える資源と持続可能社会 再生可能資源と再生不能資源、持続可能性とは 第4回 環境問題の変遷 公害問題から地球環境問題へ 第5回 典型七公害 大気・水・土壌の汚染、足尾鉍毒、四大公害病 第6回 有害物質による環境汚染 イタイイタイ病を事例として 第7回 水質汚濁（Ⅰ） 水質汚濁の原因、生活排水、BOD 第8回 水質汚濁（Ⅱ） 水質汚濁の対策、下水道と浄化槽、多自然川づくり 第9回 気候変動（Ⅰ） 気候変動の具体的な影響、豪雨・熱中症・感染症等の増加 第10回 気候変動（Ⅱ） 温室効果ガス、気候変動の状況と将来予測 第11回 気候変動（Ⅲ） 予防原則、先進国・途上国の責任、パリ協定 第12回 エネルギー問題と低炭素社会への流れ 1次エネルギー、再生可能エネルギー 第13回 廃棄物問題と循環型社会への流れ 一般廃棄物・産業廃棄物・感染性廃棄物と3R 第14回 低炭素社会と循環型社会の融合 再生可能エネルギー・再生可能資源を中心とした社会づくり 第15回 持続可能社会の構築をめざして 低炭素社会と循環型社会を具体化した未来社会の在り方を考える	西菌 大実 西菌 大実 西菌 大実 西菌 大実 西菌 大実 西菌 大実 西菌 大実 西菌 大実 西菌 大実 西菌 大実 西菌 大実 西菌 大実 西菌 大実 西菌 大実 西菌 大実
科目の目的	環境問題への認識は、現代社会を生きていくために不可欠の要素である。また、疾病の発症するバックグラウンドとして、その時代の環境が色濃く反映している。環境理解を深めることによって、社会人としてよりよく生き、適切な保健医療サービスを提供できるようになることを目指す。 【知識・理解・表現】	
到達目標	1. 環境問題の背景と発生原因を理解する 2. 公害問題、地球環境問題とその対策の考え方を理解する 3. 資源・エネルギーの適切な利用と低炭素社会・循環型社会・持続可能社会構築への認識を持つ	
関連科目	特になし	
成績評価方法・基準	定期試験（100%）	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	講義資料をもとに授業該当箇所の予習・復習（自筆ノートの整備）を行う。 準備学習に必要な学習時間の目安は1コマ当たり4時間。	
教科書・参考書	使用しない（プリント配布）	
オフィス・アワー	授業の前後・非常勤講師室	
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意	特になし	
アクティブ・ラーニングの実施	教室内でのグループ・ディスカッション	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
佐藤 久美子			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 ヒトへの進化 生命を支える物質 (1) ①生命の誕生と進化、ヒトへの進化について概説 ②生命現象の普遍的な特質、一様性、多様性、連続性について ③生命活動に主要な役割を持つ構成成分(1) ・水の重要性 ・タンパク質	佐藤久美子
	第2回 生命を支える物質 (2) 生命活動に主要な役割を持つ構成成分(2) ・炭水化物 (糖質) ・脂質 ・核酸 ・無機質 (無機塩類)	佐藤久美子
	第2回～3回 生命の単位 ①ウイルス、原核細胞 (細菌類を含む)、真核細胞 ②真核細胞の構造と機能 ・細胞膜の構造と機能 ・細胞質基質の役割 ・核の構造と機能 ・粗面小胞体の構造と機能 ・滑面小胞体の構造と機能 ・ゴルジ体の構造と機能 ・リソソーム ・ペルオキシソーム ・ミトコンドリア ・色素体 ・細胞骨格の種類とその役割	佐藤久美子
	第4回～5回 細胞の増殖・生殖細胞の形成 ①細胞周期 ②間期 (S期、G2期、G1期) ③細胞周期の調節 ④分裂期 (M期) ・体細胞分裂～染色体の構造、娘細胞への染色体 (遺伝子) の分配～ ・減数分裂～生殖細胞の形成、配偶子の形成～	佐藤久美子
	第6～7回 受精、発生、分化 ①無性生殖と有性生殖 ②受精 ③発生と分化のしくみ 卵割と胞胚形成、遺伝子の働き ④胚葉形成 (中期胞胚変 (遷) 移と母性胚性変 (遷) 移) ⑤器官形成 ⑥形態形成とアポトーシス	佐藤久美子
	第8回 ヒトの染色体と遺伝子、メンデルの法則と形質の遺伝 ①ヒトの染色体と遺伝子 ②メンデルの法則と形質の遺伝 ③A B O血液型の遺伝 ④家系図の書き方 ⑤遺伝病の原因———遺伝子変異	佐藤久美子
科目の目的	基礎生物学 (前期)、生物学 (後期) では、高等学校「生物基礎」履修済みを前提に、医療系専門職の専門課程の学習を理解するために必要な生命現象の基礎知識を深めることを目的とする。特に基礎生物学では生体を構成する基本単位である細胞について、その構造と機能、細胞の増殖と生殖細胞の形成などを学び、さらに生命の連続性を担保する受精、発生、形質の遺伝について知識を深めることを目的とする。【知識・理解・表現】	
到達目標	ヒトの生命活動の全体像を理解するために次の事項を理解し、説明できる力を身につける。 ①生命の起源からヒトへの進化、生命現象の特質について理解する。 ②細胞構成成分である水の重要性を理解し、タンパク質、糖、脂質、核酸、無機質について説明できる ③細胞の構造、細胞構成成分、細胞内小器官の働きや仕組みを理解する ④細胞の周期とその調節、体細胞分裂と減数分裂を図示して詳細に説明できる。 ⑤生殖、発生、分化のしくみ、形態形成とアポトーシスについて理解する。 ⑥ヒトの染色体と遺伝子、メンデルの法則とヒト正常形質の遺伝について説明できる。	
関連科目	基礎化学、解剖学 I、生理学 I、生化学	
成績評価方法・基準	定期試験の成績 (75%) 及び講義終了時に提出するリアクションペーパー (25%) により評価する。	

準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	各回ともシラバスの講義内容に一致する高等学校生物の教科書または補助教材を1時間程度復習しておくこと。特に、授業範囲の専門用語についてはわからないときには生物学事典（岩波書店、東京化学同人社など）で調べ、理解しておくこと。
教科書・参考書	教科書：「人の生命科学」 佐々木史江、堀口 毅、岸 邦和、西川純雄（医歯薬出版株式会社） 参考書：1. 「Essential細胞生物学原書第4版」中村桂子、松原謙一 監訳（南工堂） 2. アメリカ版「大学生物学の教科書1巻～3巻」 D. サダヴァ他著 ブルーバックス（講談社） 3. 「基礎から学ぶ生物学・細胞生物学」 和田 勝（羊土社）
オフィス・アワー	授業終了後に教室で、または随時e-mailで質問を受ける。
国家試験出題基準	
履修条件・履修上の注意	講義資料は事前に（4～5日前）アップロードするので、予め印刷して目を通し、当日持参すること。生物学全般、特に生命活動を支えるエネルギーの産生や生物学分野の基礎研究が医療に生かされている現状、ヒトの遺伝などを理解するために、後期に開講される生物学を併せて履修することが望ましい。
アクティブ・ラーニングの実施	実施なし。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
嶋田 淳子			

授業形態	講義	担当者
授業計画	<p>第1回・2回 遺伝ーヒトを中心にーその1</p> <p>①遺伝子の転写 ②遺伝子の翻訳 ③原核生物と真核生物における遺伝情報発現コントロール ④エピジェネティクス</p> <p>第3回・4回 遺伝ーヒトを中心にーその2</p> <p>①遺伝子の複製 ②単一形質（メンデル形質）で発現する遺伝病 ・常染色体性顕性遺伝病、潜性遺伝病と伴性遺伝病 ・保因者、患者の出現頻度ーハーディーワインベルグの法則の有用性ー ③染色体異常 ④ミトコンドリア病 ⑤体細胞遺伝病</p> <p>第5回・6回 ヒトの受精と初期発生</p> <p>①ヒトの配偶子形成：減数分裂と遺伝子の組み換え、精子と卵子の形成 ②受精：精子の先体反応、受精と多精拒否の機構 ③胚盤胞の形成と着床 ・始原生殖細胞の形成 ・内細胞塊の分化と胚葉の形成 ④胚葉の分化 ⑤前胚子期と胚子期 ⑥発生をつかさどる遺伝子 ⑦先天異常発生の要因</p> <p>第7回・8回 細胞科学の先端研究と医療への応用</p> <p>①オミックス解析の現状と課題 ②細胞内タンパク質の再利用 ・ユビキチンープロテアソーム系 ・オートファジー ③iPS細胞 基礎研究と応用研究の進捗状況 ④細胞周期調節のしくみとがん化 ⑤細胞分裂の限界と老化</p>	<p>嶋田 淳子</p> <p>嶋田 淳子</p> <p>嶋田 淳子</p> <p>嶋田 淳子</p>
科目の目的	<p>高等学校「生物基礎」履修済みを前提に、保健医療の専門職として、先進・高度化しつつある専門領域の学習を理解するために必要な生命科学の基礎知識を深めることを目的とする。本講義では、生物学Aで学んだ知識をベースに、生命活動を支えるエネルギー獲得、真核細胞のDNA複製や遺伝子の情報発現、情報発現の調節などを詳しく学ぶ。また、ヒトの遺伝病、先天異常及びヒトの初期発生について学ぶ。さらに医療分野に直接関連する基礎生物学分野の研究進捗状況について理解する。【人間性・思考・判断力】</p>	
到達目標	<p>生物学Aの学習内容を基礎として次の事項を理解し、説明できる力を身につける。</p> <p>①光合成によるエネルギー獲得の詳細と呼吸による生命活動のエネルギー産生について詳細に説明できる。</p> <p>②真核細胞におけるDNAの複製、遺伝情報発現、情報発現コントロール、DNAの変異などについて知識を深める。</p> <p>③ヒトのメンデル様式による遺伝病およびそれ以外の要因による遺伝病について学び、説明できる。</p> <p>④ヒトの受精、発生初期における細胞分裂の詳細と形態形成及び先天異常発生の要因について学び、説明できる。</p> <p>⑤細胞科学の先端基礎研究と医療分野との関連について理解し、説明できる力を身につける。</p>	
関連科目	基礎生物学、化学A、解剖学Ⅰ、生理学Ⅰ、生化学	
成績評価方法・基準	定期試験の成績（80%）及び講義終了時に提出するリアクションペーパー（20%）により評価する。	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	各回ともシラバスの講義内容に一致する高等学校生物の教科書または補助教材を1時間程度復習しておくこと。特に、授業範囲の専門用語についてわからないときには生物学事典（岩波書店、東京化学同人社など）で調べ、理解しておくこと。	
教科書・参考書	<p>教科書：「人の生命科学」 佐々木史江、堀口 毅、岸 邦和、西川純雄（医歯薬出版株式会社）</p> <p>参考書：1. 「Essential細胞生物学原書第4版」中村桂子、松原謙一 監訳（南工堂） 2. アメリカ版 大学生物学の教科書1巻～3巻」 D. サダヴァ他著 ブルーバックス（講談社）</p>	

	3. 「基礎から学ぶ生物学・細胞生物学」 和田 勝 (羊土社)
オフィス・アワー	授業終了後に教室で、または随時e-mailで質問を受ける
国家試験出題基準	
履修条件・履修上の注意	基礎生物学を履修していることが望ましい。
アクティブ・ラーニングの実施	授業の中でグループワークを行う。

講義科目名称： 基礎数学

授業コード： 3C019

英文科目名称：

対象カリキュラム： 2023年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
若松 馨			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 数と式 多項式の四則演算を復習する。日常で数や式を操作するセンスを伸ばすことを促す。	若松 馨
	第2回 方程式と不等式 1次不等式、2次方程式の復習をする。日常や医療の場でもそのセンスを役立てることを促す。	若松 馨
	第3回 2次関数 関数とグラフの概念を復習する。 関数の最大・最小の求め方を整理する。 2次関数のグラフと2次方程式・2次不等式の関係。 生活の中で数量的なセンスを発揮することを促す。	若松 馨
	第4回 図形と計量 三角比、正弦定理と余弦定理、図形の計量に関して復習する。 生活の中でそのセンスを磨くことを考える。	若松 馨
	第5回 個数の処理 集合とその要素の個数、場合の数、順列、組み合わせ・二項定理の復習。生活の中でそのセンスを役立てることを促す。	若松 馨
	第6回 確率 事象と確率、確率の性質、反復試行の確率、期待値の復習。生活の中でそのセンスを役立てることを考える。	若松 馨
	第7回 論理と命題 命題と条件、必要条件、十分条件、逆、裏、対偶の復習。生活や医療の場で論理的なものごとをとらえるセンスを磨くことを促す。	若松 馨
	第8回 基礎統計学 資料の整理を復習し、データの特徴的な値を求める。	若松 馨
科目の目的	高校数学の基礎を復習し、数学の各分野の概念を再確認し、それを医療を含む生活での現象に結びつけて応用するセンスと技能を伸ばし、将来、医療従事者として数理現象を見出し、定量的に表現し、その上で分析、評価するための基礎的な能力を磨く。具体的には、数と式、方程式と不等式、二次関数、図形と計量、場合の数と確率、論理と命題、基礎統計学について学ぶ。【知識・理解・表現】	
到達目標	1. 基礎的な数学の概念の復習をする。 2. 数学の概念や道具を自力で扱えるようにする。 3. 定量的なものごとを評価するセンスを磨く。	
関連科目	数学, 応用数学, 基礎物理学, 物理学, 基礎化学, 化学	
成績評価方法・基準	筆記試験(100%) なお、社会情勢に応じて、筆記試験の代わりにレポート試験をすることもありうる。	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	・高校数学の教科書の相当部分を読んでおく。(30分程度) ・プリントや問題集の問題を解く。(90分程度)	
教科書・参考書	教科書・参考書：特になし。 毎回、講義内容のプリントをActive Academyで配布する。 配布期間：前回授業翌日から当該日まで 持参方法：各自印刷して授業に持参すること	
オフィス・アワー	授業前後の休憩時間	
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意	○履修条件 講義「数学」も履修することが望ましい。	
アクティブ・ラーニングの実施	実施なし	

講義科目名称： 数学

授業コード： 3C020

英文科目名称：

対象カリキュラム： 2023年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
若松 馨			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 三角関数 一般角と弧度法，三角関数の加法定理，三角関数の合成，和と積の変換 第2回 複素数 複素数の導入と計算方法，複素共役，剰余の定理，因数定理 第3回 指数関数と対数関数 指数法則，実数のべき，対数の導入，対数法則，底の変換公式 第4回 ベクトルと行列 ベクトル・行列の導入，基本的な性質 第5回 微分の導入 微分の定義，整式の微分，極大値・極小値 第6回 微分の基本性質 積・商の微分，合成関数の微分，三角関数・指数関数・対数関数の微分 第7回 積分の導入 積分の定義，整式の積分，図形の面積 第8回 積分の応用 置換積分，部分積分，三角関数・指数関数・対数関数の積分，微分方程式	若松 馨 若松 馨 若松 馨 若松 馨 若松 馨 若松 馨 若松 馨 若松 馨
科目の目的	医療従事者には、個々の患者の生理的状態や疾病状態、患者集団の動向などを種々のデータによって定量的にとらえ、分析・評価する能力が求められる。また患者への治療・検査刺激の量的な理解と評価も重要である。本科目はそれらのための基礎的数学知識の確認に加えて、発展的な知識を身につけ、専門科目の円滑な理解につなぐことを目指す。具体的には、三角関数、複素数、指数関数、対数関数、ベクトルと行列、微分・積分、微分方程式、部分積分などについて学ぶ。【知識・理解・表現】	
到達目標	1. 医療や科学を学ぶためのやや進んだ数学的な知識と技能を学ぶ。 2. 数理現象を理解したり、評価したり、扱ったりする数学的なセンスを養う。	
関連科目	基礎数学，応用数学，基礎物理学，物理学，基礎化学，化学	
成績評価方法・基準	レポート試験（100%）	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	<ul style="list-style-type: none"> ・高校数学の教科書の該当する部分を読んでおく。（30分程度） ・プリントや問題集の問題を解く。（90分程度） 	
教科書・参考書	教科書・参考書：特になし。 毎回，講義プリントをActive Academyで配布する。 配布期間：前回授業翌日から当該日まで 配布方法：各自印刷して授業に持参すること	
オフィス・アワー	授業前後の休憩時間	
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施	実施なし	

講義科目名称： 基礎化学

授業コード： 3C021

英文科目名称：

対象カリキュラム： 2023年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
酒井 健一	酒井健一		

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 化学と科学 化学物質・元素	酒井健一
	第2回 物質の成り立ち 物質を構成している分子と原子の構造など	酒井健一
	第3回 放射線とは何か、放射線の利用 放射線・放射性物質とな何か	酒井健一
	第4回 化学結合の基礎 様々な結合様式	酒井健一
	第5回 水の特異的性質と生体内の役割 水の特徴的な性質を学ぶ	酒井健一
	第6回 水の性質と浸透圧 水の性質と浸透圧など	酒井健一
	第7回 有機化合物の特徴、構造・立体異性体、アミノ酸とタンパク質 有機化合物の概要	酒井健一
	第8回 まとめ 定期試験を兼ねて講義する	酒井健一
科目の目的	物質の科学の一つである化学について、基礎的な事項を学び、専門課程を理解するための知識とすることを目的とする。【知識・理解・思考】	
到達目標	専門課程を学習するのに必要な化学の知識を習得する。	
関連科目	生化学	
成績評価方法・基準	試験（70%）、課題（30%）	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	学習時間目安：1時間	
教科書・参考書	教科書： 看護系で役立つ化学の基本 有本淳一、西沢いずみ著 化学同人	
オフィス・アワー	月曜日 16時から18時	
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施	講義の中で出題する課題をレポートで提出させ、且つ発表することで教員と学生の情報共有を通して学修する。	

講義科目名称： 化学

授業コード： 3C022

英文科目名称：

対象カリキュラム： 2023年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
酒井 健一	酒井健一		

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 化学の世界 スーパーミネラルの役割、原子・元素の世界	酒井健一
	第2回 原子量と物質量、化学反応の量的関係 アボガドロの法則、物質の状態変化	酒井健一
	第3回 酸・塩基・緩衝液 酸と塩基、緩衝液	酒井健一
	第4回 化学反応熱と、化学平衡・溶液の性質 発熱・吸熱は能・熱化学方程式	酒井健一
	第5回 有機化合物 炭素骨格分類 異性体	酒井健一
	第6回 芳香族化合物、アミノ酸とタンパク質 芳香族化合物とアミノ酸	酒井健一
	第7回 生体高分子 生体内アミノ酸・蛋白質など	酒井健一
	第8回 まとめ 本講義で解説した化学をすべて復習	酒井健一
科目の目的	医療と化学の関係は深い。生命科活動地震が秩序だった化学反応である。医薬品や臨床検査約などw 扱うには科学的な見方考え方が重要である。本講義では、基礎的な知識を習得することを目的とする。	
到達目標	泉温家庭で遭遇する化学に根差した問題などを解決または理解するための基礎的ポイントを学ぶ。	
関連科目	生化学・基礎化学	
成績評価方法・基準	試験（70%）、課題（30%）	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	2時間	
教科書・参考書	教科書： まるわかり！ 化学基礎 田中永一編 松岡政忠著 南山堂	
オフィス・アワー	月曜日16時から18時	
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施	講義内で課す課題をレポートで提出させるほか、講義内で発表させる。	

講義科目名称： 基礎物理学

授業コード： 3C023

英文科目名称：

対象カリキュラム： 2023年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
山崎 真			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 物理量の次元と単位 補助単位、組立単位、同次元の単位の変換。	山崎真
	第2回 静止系 力の釣り合い、モーメントの釣り合い、バネの力	山崎真
	第3回 運動 瞬間の速度、加速度。等速直線運動、等加速度運動。	山崎真
	第4回 運動方程式 1 力学の問題の標準的な手続き。	山崎真
	第5回 運動方程式 2 坂道、バネなどの典型問題。	山崎真
	第6回 仕事とエネルギー 位置エネルギー、運動エネルギー、弾性エネルギー。エネルギー保存則。	山崎真
	第7回 円運動 等速円運動。	山崎真
	第8回 バネと単振動 単振動。	山崎真
科目の目的	高等学校で物理を履修していない学生を想定し、物理の基礎を身につける。 高校物理を履修済みの学生にとっても新たな発見があるよう、別の視点の紹介も行う。 【基本的知識と技術】 【コミュニケーション能力】 【知的探求能力】 【人間力と倫理観】	
到達目標	物理学の基礎的な概念を知り、標準的なアプローチを身につけ、物理現象を定量的・定性的に取り扱えるようになる。 分野は概ね初等力学。	
関連科目	物理学	
成績評価方法・基準	定期試験(90%)，講義内レポート(10%)	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	高校物理教科書や参考書を読んでから講義に臨めばより効果的だが、受講生には予習よりも講義の復習を期待する。前回分の演習問題を解いておくこと。 30分～1時間程度(定期試験前の復習は別)	
教科書・参考書	教科書：自作テキスト	
オフィス・アワー	随時。	
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意	特になし	
アクティブ・ラーニングの実施	問題解決学修	

講義科目名称： 物理学

授業コード： 3C024

英文科目名称：

対象カリキュラム： 2023年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
山崎 真			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 熱現象 1 熱と温度、比熱	山崎真
	第2回 熱現象 2 気体の状態方程式、仕事と熱	山崎真
	第3回 熱現象 3 気体分子運動論	山崎真
	第4回 波動 1 回折、屈折、波の式	山崎真
	第5回 波動 2 干渉、ドップラー効果	山崎真
	第6回 電気基礎 1 抵抗回路の基礎、電位の概念	山崎真
	第7回 電気基礎 2 キルヒホッフの法則、電力	山崎真
	第8回 電磁波・放射線 電磁波と各種核崩壊	山崎真
科目の目的	高等学校で物理を履修していない学生を想定し、物理の基礎を身につける。 基礎物理学に続き熱と波動、電気の基礎を学ぶ。【人間性・思考・判断力】	
到達目標	物理学の基礎的な概念を知り、標準的なアプローチを身につけ、物理現象を定量的・定性的に取り扱えるようになる。	
関連科目	基礎物理学	
成績評価方法・基準	定期試験（90%），講義内内レポート（10%）	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	高校物理教科書や参考書を読んでから講義に臨めばより効果的だが、受講生には予習よりも講義の復習を期待する。前回分の演習問題を解いておくこと。 30分～1時間程度(定期試験前の復習は別)	
教科書・参考書	参考書：講義中に指示する。	
オフィス・アワー	随時	
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意	基礎物理学も履修しておくことを強く勧める。	
アクティブ・ラーニングの実施	問題解決学修	

講義科目名称： 英語リーディング

授業コード： 3C025

英文科目名称：

対象カリキュラム： 2023年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
徳永 慎也			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 Introduction、Self Introduction 授業の説明、自己紹介（課題）英語で自己紹介をしてみる。	徳永慎也
	第2回 Lesson 1 Communication communicationの持つ力についての英文読解。課題のフィードバック。	徳永慎也
	第3回 Lesson1 Communication communicationの持つ力についての英文読解。Grammar for ommunicationのLet's Try (Lesson 1)	徳永慎也
	第4回 Lesson 3 Health 病気を引き起こす微生物発見の歴史についての英文読解。	徳永慎也
	第5回 Lesson 3 Health 病気を引き起こす微生物発見の歴史についての英文読解。Grammar for CommunicationのLet's Try (Lesson 3)	徳永慎也
	第6回 Lesson 4 Environment 絶滅種、絶滅危惧種についての英文読解。	徳永慎也
	第7回 Lesson 4 Environment 絶滅種、絶滅危惧種についての英文読解。Grammar for CommunicationのLet's Try (Lesson 4) (課題) 私の好きな事、もの	徳永慎也
	第8回 Lesson 5 Fashion 日本の着物の歴史についての英文読解。課題のフィードバック	徳永慎也
	第9回 Lesson 5 Fashion 日本の着物の歴史についての英文読解。Grammar for CommunicationのLet's Try (Lesson 5)	徳永慎也
	第10回 Lesson 10 Steve Jobs Steve Jobsの生涯に関する英文読解。Jobsのメッセージを読み取る。	徳永慎也
	第11回 Lesson 10 Steve Jobs Steve Jobsの生涯に関する英文読解。Grammar for CommunicationのLet's Try (Lesson 10)	徳永慎也
	第12回 Lesson 11 Volunteer Work ボランティア活動の意義に関する英文読解。	徳永慎也
	第13回 Lesson 11 Volunteer Work ボランティア活動の意義に関する英文読解。Grammar for Communication のLet's Try (Lesson 11) (課題) スマートフォンの利点・欠点	徳永慎也
	第14回 Lesson 14 Culture カルチャーショックに関する英文読解。課題のフィードバック	徳永慎也
	第15回 Lesson 15 An International World 留学を通して得られたものについての会話練習、英文読解。	徳永慎也
科目の目的	専門分野の英語に取り組むための基礎力、特にリーディング力、リスニング力を養成する。英語を学ぶことを通じて、将来の医療人として人間や社会に対する興味・関心の幅を広げ、関心・興味を持った事柄に関して調べ、自分の考え・意見を持ち、それらを表現する。【多様性理解・尊重】 【コミュニケーション・協調】	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・テキストや各自の力と興味に合わせた本を読むことを通じて、多くの英文に接し、構文を正しく理解し、英文の内容を理解することができる。 ・テキストのトピックについて調べ、自分の考え・意見を持ち、グループやペアでの話し合いを通じて、他者の考え・意見も聞き、最終的に自分の考え・意見をまとめ、表現することができる。 ・テキスト教材の音声聞いて、単語や文章を聴き取り、発音することができる。 ・extensive readingの目標は10,000words。易しい英文を楽しみながら読むことができ、口語表現、日常生活での英語表現が理解できる。 	
関連科目	医療英語会話、医療英語リーディング、英語会話、英語アカデミックリーディング・ライティング	
成績評価方法・基準	定期試験（60%）課題（30%）extensive reading（10%）	

準備学習の内容・ 準備学習に必要な 学習時間の目安	予習：次回に学習する範囲の英文を読んで、わからない単語は辞書で調べ、英文の大まかな内容をつかむ。どこがわからないのかを明確にする。exercise等もあらかじめやっておく。 復習：その日に学習したことを整理し、英文を理解する。課題を行う。予習復習合わせて約1時間。 extensive readingについては、目標達成に向けて、各自のペースで計画的に進める。
教科書・参考書	教科書：Journeys: Communication for the Future 阿野幸一ほか4名（朝日出版社）
オフィス・アワー	講義日の昼休み（4号館8階研究室）
国家試験出題基準	
履修条件・履修上の注意	高校までの基本的英文法は理解しておいてください。辞書を授業に持ってくること。
アクティブ・ラーニングの実施	実施なし

講義科目名称： 医療英語会話

授業コード： 3C026

英文科目名称：

対象カリキュラム： 2023年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
Heather McCulloch			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 Introduction/Icebreaking Introduction to the course, class format, expectations, syllabus, and grading scale, as well as personal introductions and commonly used phrases and questions for use in class.	Heather McCulloch
	第2回 Unit 1: Meeting patients	Heather McCulloch
	第3回 Quiz (short test) on Unit 1 + Unit 2: Taking a medical history	Heather McCulloch
	第4回 Quiz (short test) on Unit 2 + Unit 3: Assessing symptoms	Heather McCulloch
	第5回 Quiz (short test) on Unit 3 + Part I of Unit 4: Taking vital signs + Prepare for 1st Presentation	Heather McCulloch
	第6回 1st Presentation + Part II of Unit 4: Taking vital signs Presentations will consist of performing skits in pairs based on the model dialogs in Units 1-4.	Heather McCulloch
	第7回 Quiz (short test) on Unit 4 + Unit 5: Taking a specimen	Heather McCulloch
	第8回 Quiz (short test) on Unit 5 + Unit 6: Conducting a medical examination	Heather McCulloch
	第9回 Quiz (short test) on Unit 6 + Unit 7: Assessing pain	Heather McCulloch
	第10回 Quiz (short test) on Unit 7 + Part I of Unit 8: Advising about medication + Prepare for 2nd Presentation	Heather McCulloch
	第11回 2nd Presentation + Part II of Unit 8: Advising about medication Presentations will consist of performing skits in pairs based on the model dialogs in Units 5-8.	Heather McCulloch
	第12回 Quiz (short test) on Unit 8 + Unit 9: Improving Patients' mobility	Heather McCulloch
	第13回 Quiz (short test) on Unit 9 + Unit 10: Maintaining a good diet	Heather McCulloch
	第14回 Quiz (short test) on Unit 10 + Unit 11: Caring for inpatients	Heather McCulloch
	第15回 Unit 12: Coping with emergencies + Prepare for Final Presentation	Heather McCulloch
科目の目的	Medicine is undeniably a global field in which ideas are shared in the international language of English. This course will introduce students to helpful communication strategies and explore communicative skills in English that are of particular relevance to the field of medicine. 【多様性理解・尊重】 【コミュニケーション・協調】	
到達目標	Students will be able to: 1) handle a wide variety of medical situations using English, 2) understand and actively use accepted terminology and phraseology to explain and discuss major medical topics, and 3) build a foundation in medical English upon which to further their studies toward becoming professionals in their chosen field of medicine.	
関連科目	Related to all English courses	
成績評価方法・基準	1. In-class quizzes (short tests) (30%: 3% x 10 quizzes) These will cover material from the text and will be graded in class. 2. Two midterm presentations (done in pairs but graded individually) (40%: 1st=20%; 2nd=20%) Students will prepare and give presentations in pairs on relevant topics. 3. Final presentation (done in pairs but graded individually) (30%) Final presentation will consist of performing skits in pairs based on the model dialogs in Units 1-12.	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	Each week we will practice and review a chapter from the text. Please read the dialogs, understand key vocabulary, and be prepared to speak in class. Listening practice is also important. Please use the online resources to practice listening. Each chapter will	

	require about 30-60 minutes on your own to review and study. In addition, you will need about 6 hours during the semester to prepare for presentations.
教科書・参考書	教科書 : Caring For People
オフィス・アワー	Visits can be made by appointment
国家試験出題基準	無し
履修条件・履修上の注意	Be prepared to speak in class individually, in pairs, and in small groups. Review the vocabulary and grammar from the text in order to use it in class. This syllabus is subject to change.
アクティブ・ラーニングの実施	pair work , group work , presentation

講義科目名称： 医療英語リーディング

授業コード： 3C027

英文科目名称：

対象カリキュラム： 2023年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
徳永 慎也			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2023年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		

講義科目名称： 英語会話

授業コード： 3C028

英文科目名称：

対象カリキュラム： 2023年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
David Andrews			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2023年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		

講義科目名称： 英語アカデミックリーディング・ライティング 授業コード： 3C029

英文科目名称：

対象カリキュラム： 2023年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
徳永 慎也			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2023年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		

講義科目名称： 中国語

授業コード： 3C030

英文科目名称：

対象カリキュラム： 2023年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
深町 悦子			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 ガイダンス、中国語とは？ 発音、漢字、声調	深町 悦子
	第2回 中国語の発音のきまり 単母音、複合母音、声調	深町 悦子
	第3回 子音の発音と音節 母音、子音、音節表の読み方	深町 悦子
	第4回 発音のまとめ 自分の名前を中国語で読む練習	深町 悦子
	第5回 第1課の学習 第1課 [私は日本人です] 文法 単語 本文 置換練習	深町 悦子
	第6回 第1課の復習と第2課の学習 第2課 [これは中国語の教科書です] 文法 単語 本文 置換練習	深町 悦子
	第7回 第2課の復習と第3課の学習 第3課 [マクドナルドに行きましょう] 文法 単語 本文 置換練習	深町 悦子
	第8回 発音の総合復習と第1課から第3課までの復習 中間レポート提出	深町 悦子
	第9回 第3課の復習と第4課の学習 第4課 [明日の天気はあまりよくない] 文法 単語 本文 置換練習	深町 悦子
	第10回 第4課の復習と第5課の学習 第5課 [私は今年18歳です] 文法 単語 本文 置換練習	深町 悦子
	第11回 第5課の復習と第6課の学習 第6課 [食堂は図書館のむかいにあります] 文法 単語 本文 置換練習	深町 悦子
	第12回 第6課の復習と第7課の学習 第7課 [私は11時に寝ます] 文法 単語 本文 置換練習	深町 悦子
	第13回 第7課の復習と第8課の学習 第8課 [私は中日辞典を1冊買いに行きたい] 文法 単語 本文 置換練習	深町 悦子
	第14回 第8課の復習と第9課の学習 第9課 [私は本屋でアルバイトをしています] 文法 単語 本文 置換練習 文法 単語 本文 置換練習	深町 悦子
	第15回 第1課から第9課までの復習 総合復習	深町 悦子
科目の目的	現代のグローバル化の社会の中で、一国際人として、多言語ができる人材を育成する。【多様性理解・尊重】 【コミュニケーション・協調】	
到達目標	日常生活及び仕事の中で、簡単な会話ができること。	
関連科目	特になし	
成績評価方法・基準	期末に筆記試験を行う。基準は筆記試験が80%、授業内にレポート及び感想文の提出が20%。提出されたレポートについては次回授業内でフィードバックを行う。	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	授業前の予習と授業後の復習をすること。1時限ごとに30分ぐらい必要である。発音の練習は必ずしっかりする事、特に四声については、音声ファイルを聞きながら発声して覚えるように。	

教科書・参考書	教科書：グッと入門中国語 改訂版（金星堂） 参考書：なし
オフィス・アワー	講義の前後
国家試験出題基準	
履修条件・履修上の注意	教科書の購入が必要である
アクティブ・ラーニングの実施	実施なし

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
青木 順			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 ハングルの読み方 基本母音 朝鮮半島、ソウル市などを簡単に紹介し、ハングルの由来、構造を簡単に説明。 基本母音10個の読み方、基本母音を含んだ単語、挨拶言葉等を学習する。	青木 順
	第2回 ハングルの読み方 基本子音 基本子音4個の読み方、その基本子音を含んだ単語、挨拶言葉を学習する。 文化として伝統料理を紹介する。	青木 順
	第3回 ハングルの読み方 基本子音 基本子音4個の読み方、その基本子音を含んだ単語、挨拶言葉を学習する。	青木 順
	第4回 ハングルの読み方 激音（濃音と比較しながら） 濃音と比較しながら激音5個の読み方、激音を含んだ単語、挨拶言葉を学習する。 文化として伝統茶を紹介する。	青木 順
	第5回 ハングルの読み方 濃音（激音と比較しながら） 激音と比較しながら濃音5個の読み方、濃音を含んだ単語、挨拶言葉を学習する。	青木 順
	第6回 ハングルの読み方 合成母音 合成母音11個の読み方、合成母音を含んだ単語、挨拶言葉を学習する。	青木 順
	第7回 ハングルの読み方 パッチム パッチムの読み方、パッチムを含んだ単語、挨拶言葉を学習する。 文化として食事のマナー、1歳の誕生日を紹介する。	青木 順
	第8回 「私は青木順です」① サンパッチム、連音の説明、練習を行う。	青木 順
	第9回 「私は青木順です」② 「は」「です」「～と申します」という文法の学習、関連会話文の読み、訳を行う。 文化として伝統家屋、伝統舞踊を紹介する。	青木 順
	第10回 「私は青木順です」のまとめと「何人家族ですか？」① 韓国語での自己紹介を一人一人行う。 関連単語、「ます」「ますか」等の文法の学習と練習を行う。 文化として伝統的結婚式、楽器等を紹介する。	青木 順
	第11回 「何人家族ですか」② 「お～になります」「が」「と」などの文法の学習と練習を行う。	青木 順
	第12回 「何人家族ですか」③ 固有数字、関連会話文の読み、訳、会話練習等を行う。 文化として伝統遊びを紹介する。	青木 順
	第13回 「すみません」① 関連単語、「～してください」、意志を含んだ「ます」等の文法の学習と練習を行う。	青木 順
	第14回 「すみません」② 「いる（いない）」「ある（ない）」の説明と練習。 固有数字を使う助数詞、関連会話文の読み、訳を行う。 文化として伝統刺繍を紹介する。	青木 順
	第15回 「すみません」③とまとめ 会話練習、文法のまとめ、試験問題の説明を行う。	青木 順
科目の目的	グローバルな視点を養い、限定的な場面でのコミュニケーション能力を身に付けることができる。	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ハングル文字を正確に読み書きできるようになる。 ・正確な発音をマスターする。 ・挨拶をはじめ、簡単な日常会話を身につける。 	
関連科目	特になし。	
成績評価方法・基準	課題への取り組み（40%）・期末テスト（60%）	

準備学習の内容・ 準備学習に必要な 学習時間の目安	授業で学習した内容はその都度復習しておくこと。 外国語の学習は反復・継続することが何より大切なので、毎日10分でもよいので、積極的に取り組むこと。
教科書・参考書	講師作成教材使用予定(コピー)
オフィス・アワー	コリア語の授業のある日12:30~12:50非常勤教員室
国家試験出題基準	特になし。
履修条件・履修上の 注意	講師作成の教材を使用する。 配布期間：前回の授業翌日から当該日まで。 持参方法：各自印刷して授業に持参すること（課題も含まれているため、印刷必須）。
アクティブ・ラー ニングの実施	二人一組で、与えられた課題に取り組む方法をとる。

講義科目名称： ドイツ語

授業コード： 3C032

英文科目名称：

対象カリキュラム： 2023年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
菅谷 優			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 動詞の現在人称変化 1	菅谷優
	第2回 名詞と冠詞の格変化	菅谷優
	第3回 名詞の複数形・人称代名詞	菅谷優
	第4回 動詞の現在人称変化 2・命令法	菅谷優
	第5回 定冠詞類・不定冠詞類	菅谷優
	第6回 前置詞	菅谷優
	第7回 話法の助動詞・未来形・非人称動詞	菅谷優
	第8回 分離動詞と非分離動詞・接続詞	菅谷優
	第9回 動詞の三基本形・過去人称変化	菅谷優
	第10回 現在完了・再帰表現	菅谷優
	第11回 形容詞の格変化	菅谷優
	第12回 形容詞と副詞の比較変化・zu不定詞	菅谷優
	第13回 関係代名詞・指示代名詞	菅谷優
	第14回 受動態	菅谷優
	第15回 接続法	菅谷優
科目の目的	ドイツ語の基礎文法を一巡する。【多様性理解・尊重】 【コミュニケーション・協調】	
到達目標	講師のいない独習においても辞書と教科書を用いてドイツ語の文章が理解できるようにする。	
関連科目	健康スポーツ実技 現代文学 英語リーディング 医療英語会話 中国語 コリア語 ポルトガル語 情報処理	
成績評価方法・基準	期末試験100%	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	各文法事項一課につき予習復習込みで二時間	
教科書・参考書	教科書は郁文堂からでているDeutsche Grammatik System und Praxis Leicht ISBN978-4-261-01272-9を使用。辞書は郁文堂：新キャンパス独和辞典978-4-261-07306-5をお買い求めください。参考書として朝日出版社から出ている単語帳：ドイツ語基礎単語帳をお勧めいたします。	
オフィス・アワー	授業終了後、教室前、あるいは講師室にて	
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施	実施なし	

講義科目名称：ポルトガル語

授業コード：3C033

英文科目名称：

対象カリキュラム：2023年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
Hilda Harumi Handa			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 Introduction / Apresentacao Explaining how the class will be given, and grades / Explicar como serao as aulas e as notas. Introduction / Apresentacao Explaining how the class will be given, and grades / Explicar como serao as aulas e as notas.	Hilda Harumi Handa
	第2回 Brazil and the other nine countries that speak Portuguese / Brasil e os outros nove paises que falam português. A brief lecture about Brazil and nine other countries whose official language is Portuguese	Hilda Harumi Handa
	第3回 Greetings and Pronouns Greetings / Cumprimentos/Apresentacao Possessive adjectives/pronouns / Pronomes possessivos Saying hello and goodbye / Encontrar-se/despedir-se	Hilda Harumi Handa
	第4回 Alphabet and pronunciation / Alfabeto e pronuncia Syllables / Formacao das silabas Introduction to Portuguese Alphabet	Hilda Harumi Handa
	第5回 Stress / Acentuacao Stress rules Oxitonas/paroxitonas/proparoxitonas Rules for stressing.	Hilda Harumi Handa
	第6回 Nouns / Substantivos Adjectives / Adjetivos We'll talk about kinds of nouns and adjectives.	Hilda Harumi Handa
	第7回 Articles / Artigos definidos/indefinidos Prepositions / Preposicoes Verbs / Verbos Adverbs / Adverbios Nouns / Substantivos Adjectives / Adjetivos Learning about articles, prepositions, verbs, and adverbs.	Hilda Harumi Handa
	第8回 Conjunctions / Conjuncoes Time / Horas Seasons/Weather / Estacoes/climas Class about conjunctions, and how to talk about time and the weather.	Hilda Harumi Handa
	第9回 Cardinal/ordinal numbers / Numeros Cardinais/ordinais Phone / Telefone Email All about numbers.	Hilda Harumi Handa
	第10回 Subject pronoun / Pronomes Pessoais Verb Be I / Verbos ser e estar I More pronouns and the verb Be, that means more than one verb in Portuguese.	Hilda Harumi Handa
	第11回 Verb Be II / Verbos Ser e estar II Continuing with the verb Be.	Hilda Harumi Handa
	第12回 Family / Familia Week/month/year / Semana/meses/ano Colors / Cores Light class about family, dates, and colors.	Hilda Harumi Handa
	第13回 Human Body / Corpo Humano Clothing / Roupas Special class about the human body.	Hilda Harumi Handa
	第14回 Food & Culture / Gastronomia e cultura Let's learn about Brazilian food, and maybe taste some of it.	Hilda Harumi Handa

	第15回 Exam Let's see how much you learned from the previous classes.	Hilda Harumi Handa
科目の目的	<p>ポルトガル語は主にブラジルで話される言語で、1万人以上のブラジル系住民が生活する群馬県内でも接する機会の多い言語です。群馬県内(特に東毛地区)において地域に関わる仕事(例えば、公務員や教員、医療関係など)を希望している学生にはポルトガル語の習得をお薦めします。</p> <p>また、ポルトガル語はブラジル以外の国々でも公用語とされているところがあり、国際的に活動したいという際にも役立てることができます。</p> <p>ポルトガル語は英語に近い構造のヨーロッパ言語で、英文法や語彙の知識が応用できる項目もあり、一方で英語の理解にも役立ちます。</p> <p>本授業の目標はポルトガル語の入門にとどまりますが、初級、中級へと学習を進めるためのきっかけとなると同時に、「英語以外のヨーロッパ言語」に関心を持っていただくこと、加えて可能な限り、ブラジルを中心としたポルトガル語圏の文化についても授業内で紹介し、ポルトガル語に関わる事柄の知見を広めることも目指します。【倫理観と幅広い教養】【基本的知識と技術】【地域リハビリテーションの理解・問題解決力】【自己研鑽・探求力】</p>	
到達目標	<p>本授業では欧州言語共通参照枠(CEFR)のA1レベルを習熟目標とし、ポルトガル語の基本中の基本となる以下の基礎文法と基礎的なコミュニケーション表現を習得することを目指します。</p> <p>(1)ポルトガル語を読める (2)名詞や形容詞の性数の考え方が理解できる (3)挨拶など基礎的な表現ができる (4)基礎的な語彙を使うことができる (5)動詞の活用ができる</p> <p>これらに加え、とりわけブラジル人との日常的なコミュニケーションに関わる文化の知識(食文化、交通など)を身につけることも目標とします。</p>	
関連科目	特になし	
成績評価方法・基準	50% from final exam, and 40% participation (not attendance) in class, 10% assignments.	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	No special knowledge is required for it's a class for beginners. However, students should prepare by reviewing the handouts from the previous class and reading the newspapers or magazines mentioned in class. Students are advised to study about 2-3 hours per week in preparation for each 90-minute lesson.	
教科書・参考書	Teacher will provide handouts. Students will be encouraged to read some books, newspapers or magazines, that will be mentioned during class.	
オフィス・アワー	Students can communicate through email that will be provided on the first class.	
国家試験出題基準	特になし	
履修条件・履修上の注意	<p>5回以上の欠席がある場合は期末試験を受けられません。 また、特別な事情がない場合の30分以上の遅刻は欠席と見なします。 就職活動や特別な事情による欠席は考慮いたします。</p> <p>大学生として相応な英語力と意欲、情熱があることが望ましいです。</p>	
アクティブ・ラーニングの実施	discussion , conversation and pair work	

講義科目名称： 情報処理

授業コード： 3C034

英文科目名称：

対象カリキュラム： 2023年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
星野 修平	谷口 杏奈		

授業形態	演習	担当者	
授業計画	第1回	本講義の概要と授業準備 本講義の概要とパーソナルコンピュータの利用について	星野 修平
	第2回	コンピュータの基礎 ハードウェアとソフトウェア ソフトウェア 情報システム	星野 修平
	第3回	情報の形態と収集の方法 情報の形態 情報蓄積の形態 クラウド環境の情報 検索エンジン 情報収集の技術 情報収集の応用	星野 修平
	第4回	インターネットの仕組みとWebシステム インターネットの概要 通信機能の階層化 IPアドレスの仕組み パケット通信の仕組み 通信の経路を選ぶ仕組み データを確実に送り届ける仕組みと素早く送り届ける仕組み アプリケーション層のプロトコル 直接接続する機器の通信 Webアプリケーションの仕組み クラウドコンピューティング	星野 修平
	第5回	情報の伝達 ソーシャルネットワーキングサービス ブログ 電子掲示板 電子メール ソーシャルメディア 電子書籍	星野 修平
	第6回	レポートの作成と編集（1） レポートとは 主題を決める 構造化を考える	谷口 杏奈
	第7回	レポートの作成と編集（2） 内容を作り込む 数式表記 創造的レポートに向けて	谷口 杏奈
	第8回	情報のデータ化と分析・マイニング（1） 情報とデータ データの整理 データの可視化 データマイニング テキストマイニング	星野 修平
	第9回	情報のデータ化と分析・マイニング（2） 情報のデータ化と分析の演習（1）	谷口 杏奈
	第10回	情報のデータ化と分析・マイニング（3） 情報のデータ化と分析の演習（2）	谷口 杏奈
	第11回	モデリングとシミュレーション モデルとデータ 確率的現象 傾向と予測 未来を予測する	星野 修平

	第12回	プレゼンテーションの方法（1） シナリオシートの作成と基本的な操作 プレゼンテーションの演習（1）	谷口 杏奈
	第13回	プレゼンテーションの方法（2） プレゼンテーションの演習（2） 技術の進歩とプレゼンテーションの変化	谷口 杏奈
	第14回	セキュリティと法令順守 情報セキュリティ 情報漏えい対策法 インターネット社会の特性 情報社会の法令 デジタルコミュニケーション	星野 修平
	第15回	ICT活用の問題解決 問題解決の基本的手順とICTの役割 情報を客観的にとらえる インターネットを利用した情報発信 問題解決におけるシミュレーションの利用	星野 修平
科目の目的	現代社会には情報があふれており、私たちは様々なメディアから情報を取得し活用する。情報活用や情報操作を行うスキルを身につけるため、コンピュータやコンピュータネットワークの基本的概念と構成、仕組みを理解し、情報社会における情報の意味を理解することが求められる。本科目では大学での学び（学習と研究や臨床実践）をより充実させるため、パーソナルコンピュータやマルチメディアの基本的な操作を学ぶ。具体的には、Wordを使用した文書作成・編集の基本技術、Excelの基本、計算機能、ビジュアルな文書作成、インターネットの活用、ワークシートの活用などについて学び、合計、平均の計算、関数の活用、最大・最小、グラフ作成、データベースの基本事項、データのソート、検索、集計、Power Point、プレゼンテーションなどについての演習を行う。 【実践・探究・研究】		
到達目標	情報社会におけるコンピュータやインターネットの仕組み理解し、情報の活用、意味、伝達の意義について学習する。 個別目標： 1. 情報の基本的概念について説明できる。 2. コンピュータとコンピュータネットワークの仕組みについて説明できる。 3. ワードプロセッサ、スプレッドシート、プレゼンテーション・アプリケーションを用いて情報表現、情報操作が行える。		
関連科目	情報リテラシー、データサイエンス入門		
成績評価方法・基準	演習課題（50%） 定期試験（50%）		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	授業（90分）、事前自己学習（60分）、関連項目の事後学習（60分）		
教科書・参考書	教科書：標準教科書 改訂新版 よくわかる情報リテラシー 岡本敏雄 監修 技術評論社 2022 参考書：入門 情報処理 ―データサイエンス、AIを学ぶための基礎― 寺沢 幹雄・福田 収 著 オーム社 2022		
オフィス・アワー	授業の前後、昼休み、4号館7階研究室 事前にE-mail にて予約（s-hoshino@paz.ac.jp）		
国家試験出題基準			
履修条件・履修上の注意	MS-Office（MS-Word, MS-Excel, MS-PowerPoint）ウェブブラウザをインストールしたPC（WindowsPC、Mac等）を持参してください。		
アクティブ・ラーニングの実施	課題作成に際して調査学習を取り入れた演習を行う。		

講義科目名称： 情報リテラシー

授業コード： 3C035

英文科目名称：

対象カリキュラム： 2023年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
星野 修平			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 本講義の概要と授業準備 本講義の概要と授業準備として、パソコンの利用方法、具体的な活用について学ぶ Windowsへのサインイン、基本操作 Macの基本操作	星野修平
	第2回 文字入力 メモ帳、テキストエディットによるテキスト処理 日本語の入力	星野修平
	第3回 インターネットの利用 Web、メールの利用、アカウント連携について ビジネスメールのマナー	星野修平
	第4回 お絵かきソフトとファイル操作 ペイント、GIMPによるグラフィック処理 ファイル操作、フォルダーによるファイル管理 クラウドストレージの利用 USBメモリの賢い使い方	星野修平
	第5回 アプリケーションソフト（文章作成） ワープロの利用 ワープロによるレポート作成	星野修平
	第6回 アプリケーションソフト（表計算） 表計算ソフトの利用 グラフ作成 計算、集計、並べ替え オープンデータの利用	星野修平
	第7回 アプリケーション（プレゼンテーション） プレゼンテーションソフトウェアによる情報表現 良いプレゼンテーションの仕方	星野修平
	第8回 インターネットの利用（Webによる情報収集と発信） Webの歴史 Webの仕組み（HTMLとCSSによる情報発信） Webサイトによる情報公開の留意	星野修平
	第9回 インターネットの利用（情報の探索とまとめ方） サーチエンジンの利用 インターネットによる情報収集 図書館の利用 レポート・論文作成	星野修平
	第10回 コンピュータとネットワーク コンピュータの仕組み コンピュータネットワークの構成	星野修平
	第11回 情報とセキュリティ インターネットにおけるセキュリティ 脆弱性と対策 コンピュータウイルス、マルウェアによる驚異 USBメモリの危険性 パソコン、スマホのセキュリティ対策	星野修平
	第12回 情報と法律 著作権法 個人情報保護法 不正アクセス禁止法	星野修平

	<p>第13回 データ処理 Rとは Rによるデータ処理 Rによるグラフ処理</p> <p>第14回 プログラミング Pythonとは Pythonによるプログラミング</p> <p>第15回 情報リテラシーのまとめ 情報リテラシーのまとめ この科目を通して、学んだこと習得した知識、技術を確認しよう。</p>	<p>星野修平</p> <p>星野修平</p> <p>星野修平</p>
科目の目的	<p>情報通信技術の発展に伴い、その技術に通じることは現代社会で生きていくためには不可欠な要素となっている。情報通信技術は便利で欠かせないものではあるが、その使い方を一歩誤ると、他者を傷つけたり、犯罪となったり、あるいは犯罪に巻き込まれたりすることになる。大きな社会問題に発展するケースも少なくない。</p> <p>本科目では、情報通信機器にあふれた現代社会を生きる一員として、情報通信技術を使う際の基本的なルールやモラルについて学ぶ。また学生各自が自らの学習や研究、将来医療専門職として仕事に利用するための情報セキュリティの考え方を学ぶ。</p> <p>【知識・理解・表現】</p>	
到達目標	<p>情報と意思決定の関係やメディアリテラシーの重要性を理解する。</p> <p>個別目標：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. さまざまな情報メディアを通して情報を活用する能力を身につける。 2. マルチメディアによる情報表現の手法を理解し、基本的ルールやモラルを説明できる。 3. 情報表現における倫理を理解し、情報セキュリティを実践できる。 	
関連科目	情報処理、データサイエンス入門	
成績評価方法・基準	<p>演習課題50%</p> <p>定期試験50%</p>	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	<p>事前学習（45分）</p> <p>事後学習（45分）</p>	
教科書・参考書	<p>教科書：改訂第4版 基礎からわかる情報リテラシー コンピュータ・インターネットと付き合う基礎知識 奥村晴彦・森本尚之 技術評論社</p> <p>参考書：標準教科書 改訂新版 よくわかる情報リテラシー 岡本敏雄 監修 技術評論社 2022</p>	
オフィス・アワー	<p>授業の前後、昼休み、4号館7階研究室</p> <p>事前にE-mail にて予約(s-hoshino@paz.ac.jp)</p>	
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意	<p>放射線学科・臨床工学科の合同開講となります。</p> <p>MS-Office (MS-Word, MS-Excel, MS-PowerPoint) ウェブブラウザをインストールしたPC (WindowsPC, Mac等) を持参してください。</p>	
アクティブ・ラーニングの実施	課題作成に際して調査学習を取り入れた演習を行う。	

講義科目名称： データサイエンス入門

授業コード： 3C036

英文科目名称：

対象カリキュラム： 2023年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
星野 修平			

授業形態	講義と演習	担当者
授業計画	第1回 Aiリテラシー・データサイエンスの考え方 本講義の概要と授業準備として、パソコンの利用方法、具体的な活用について学ぶ。 Aiリテラシー、データサイエンスとは	星野修平
	第2回 社会でどのような変化が起きているか ビッグデータ, IoT, 5Gなどの登場 第4次産業革命, Society5.0 データ駆動型社会	星野修平
	第3回 社会でどのようなデータが活用されているか 人の動線をめぐるデータ 多くの機器のログとオープンデータ 1次データ, 2次データ, メタデータ 非構造化データの増大	星野修平
	第4回 データ・AIを何に使えるか データ・AIの活用領域の広がり 具体的にどう使えばいいのか シェアリングエコノミー, エビデンスベース社会, ナッジ	星野修平
	第5回 データ・AIの技術 データ解析とは何をしているのか 可視化の手法にはどういったものがあるのか 非構造化データの処理とは AIの技術とは	星野修平
	第6回 データを読み, 説明し, 扱う データの種類を知る 基本統計量でデータの特徴をつかむ もととなるデータを集める 集めたデータを集計する 誤読しないデータの読み方, データの比較方法	星野修平
	第7回 データ・AIを扱うときに注意すること データ活用の負の側面 GDPR, 忘れられる権利, ELSI, オプトイン・オプトアウト データの正義について	星野修平
	第8回 データ・AIにまつわるセキュリティ 情報セキュリティの基礎 情報のCIA 暗号化と匿名加工情報	星野修平
	第9回 統計と数学のきほん AIに必要な数学 AIに必要な集合・場合の数 AIに必要な確率・統計	星野修平
	第10回 アルゴリズムとは何か AIとアルゴリズム 組み合わせ爆発を攻略するAIのアルゴリズム 探索問題 二部マッチング問題	星野修平
	第11回 データの構造とプログラミング ソフトウェアのプログラミング プログラミングの歴史 データの構造 プログラミング環境の構築 変数, 条件分岐, 繰り返し	星野修平
	第12回 データ活用実践 (教師あり学習と教師なし学習) できずとデータの収集/テキスト分析	星野修平

	<p>第13回 情報セキュリティ 時系列データ分析 時系列データの変動要因 時系列データ分析演習（二酸化炭素排出量の予測）</p> <p>第14回 データ活用実践（教師あり学習と教師なし学習） AIの学習方式 教師あり学習の出力 教師なし学習の出力 過学習と汎化 データ活用実践1－教師あり学習，分類 データ活用実践2－教師あり学習，回帰 データ活用実践3－教師なし学習，連関分析</p> <p>第15回 まとめ Aiリテラシー、データサイエンスのまとめ</p>	<p>星野修平</p> <p>星野修平</p> <p>星野修平</p>
科目の目的	現代社会においては、ICTの進歩に伴い、大容量データの収集、蓄積と解析によって、様々な情報・知識を得ることが可能となった。ビッグデータやAI、機械学習などを経て、様々な問題解決を行うデータサイエンスの基礎を学び、そのために必要なコンピュータの利用、統計学の知識、データ処理の手法を理解する。【実践・探究・研究】	
到達目標	データサイエンスに関する基礎的概念について理解し、コンピュータによってデータ解析が実践できる。 個別目標： ・データサイエンスについて基礎的概念を説明できる。 ・データサイエンスに必要なコンピュータの基本的操作が行える。	
関連科目	情報処理・情報リテラシー・医療統計学	
成績評価方法・基準	授業中に実施するミニテスト（50%）と演習課題（50%）	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	事前学習（90分）で理解し、授業を通して学んだことの事後学習（45分）	
教科書・参考書	教科書：基礎テキスト 初めてのAIリテラシー 岡嶋 裕史, 吉田雅裕 共著 2021. 技術評論社 参考書：データサイエンス入門 上藤 一郎・西川 浩昭・他 共著、オーム社	
オフィス・アワー	授業の前後、昼休み、4号館7階研究室 事前にE-mail にて予約(s-hoshino@paz.ac.jp)	
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意	MS-ExcelをインストールしたPC（WindowsPC、Mac等）を持参してください。	
アクティブ・ラーニングの実施	演習、事前課題、事後課題なその課題演習にて、学生の招待的な学びを実践的におこなう。	

講義科目名称： 大学の学び入門

授業コード： 3C037

英文科目名称：

対象カリキュラム： 2023年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
星野 修平	徳永慎也	(教員未定)	

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 大学の学び入門とは ・科目の目的・目標・進め方 ・高校生までの学習・生活と大学生の学習・生活の違い ・アカデミック・スキル、スチューデント・スキルとは	星野修平
	第2回 学ぶスキル（1） ・ノートの取る ・講義に参加する	星野修平
	第3回 学ぶスキル（2） ・本を読む ・文献を探索する ・図書館を活用する	星野修平
	第4回 学ぶスキル（3） ・オンラインコミュニケーション ・メールの活用、SNSの活用と課題 ・クラウドサービスの利用	星野修平
	第5回 学ぶスキル（4） ・大学の理念、教育の理念 ・群馬パース大学の教育の理念を聞き、大学の学びを考える ゲストスピーカー：栗田昌裕学長	星野修平
	第6回 学ぶスキル（5） ・保健・医療・福祉の理念 ・医療専門職を目指す入学動機を検証し、学習、生活両面の自分自身の目標を見つける ゲストスピーカー：國元文生群馬パース病院長	星野修平
	第7回 書くスキル（1） レポートの書き方1 ・レポートとは何か、レポート作成の手順、よいレポートとは	徳永慎也
	第8回 書くスキル（2） レポートの書き方2 ・論文作法	徳永慎也
	第9回 書くスキル（3） レポートの書き方3 ・講義レポートの形式	徳永慎也
	第10回 リサーチスキル（1） ・リサーチスキルの意味 ・インターネットの利用とデータ収集	星野修平
	第11回 リサーチスキル（2） ・データを集めて集計する ・データから基本統計量を計算する	星野修平
	第12回 生きるスキル（1） ・相手の話を聴く ・ロールプレイを通して基本的なカウンセリングの技法を体験する	(教員未定)
	第13回 生きるスキル（2） ・自分の気持ちや考えを伝える ・グループワークを通し、自分の感情や意思をわかり易く伝える練習をする	(教員未定)
	第14回 生きるスキル（3） ・協力して作業する ・これまでのワークを通して身につけたスキルを活用し、周囲と協力して課題を達成する	(教員未定)

	第15回 生きるスキル（4） ・自身の人生とライフスタイルを考える ・他者の意見を聞き、自ら考える ゲストスピーカー：樋口建介理事長	星野修平
科目の目的	大学での学習形態や学問に対する姿勢、大人としての生活態度を認識、理解し、高校生までの学習・生活から大学生の学習・生活に移行することができるように、基本的なスキル、姿勢を学ぶ。 1. 与えられた知識や技術を身に付けていく高校までの学習から、自ら課題を見つけ、それを解決していく大学の学習のためのスキルの習得、姿勢の理解 2. 高校までの大人に守られた生活から、責任ある大人としての生活のためのスキルと姿勢の理解。 【知識・理解・表現】	
到達目標	1. 大学での学習に必要な学習習慣・学習技術（アカデミック・スキル、情報処理に関するスキル、ルール、マナー）を理解し、授業やレポートで実践できる。 2. 責任ある大人としての生活に必要な、基本的な生活習慣を身につけ、大学生生活で実践できる。（スケジュール・スキル、コミュニケーションスキル）	
関連科目	全科目	
成績評価方法・基準	星野担当課題（50%、課題に対するフィードバックはAAにて掲示を行う） 徳永担当分課題（25%、課題はコメントと共に後日返却する） （新規教員）担当意見文・感想文（25%、意見文・感想文の内容に対するフィードバックは次回の講義の冒頭に行う）	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	前回授業の重要事項を見直しておくこと。約45分間。	
教科書・参考書	教科書：18歳からの「大学の学び」基礎講座、向後千春 著 北大路書房 参考書：講義等で随時紹介いたします。	
オフィス・アワー	星野：授業の前後、昼休み、4号館7階研究室 徳永：授業の前後、昼休み、4号館8階研究室 教員未定：授業の前後、昼休み、研究室	
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意	講義資料はActive Academy上で配布しますので、各自プリントアウトして授業に持ってきてください。配布期間は授業の前後1週間。	
アクティブ・ラーニングの実施	・課題提出に際し、発見学習を取り入れて実施。 ・ロールプレイ、グループワークを取り入れて実施。	

講義科目名称： 大学の学び－専門への誘い－

授業コード： 3C038

英文科目名称：

対象カリキュラム： 2023年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
大濱 和也			

授業形態	講義(オムニバス)	担当者
授業計画	第1回 保健科学総論 保健科学の概要と成り立ちを学ぶ 1. 病と人間 2. 保健科学の基礎としてのヘルスリテラシーのあらし	木村 朗
	第2回 保健科学総論 保健科学を其他的な事例に即して理解する 1. ヘルスリテラシーの活用 2. 文化とヘルスリテラシー	木村 朗
	第3回 グループワークへの導入 医療従事者に求められるスキル	大濱 和也
	第4回 グループワーク①-1 医療・保健・福祉における臨床工学の役割 臨床工学技士を目指す学生に必要な能力の具体化、グループからチームへ(テーマ決定、役割分担)	大濱 松岡 花田 近土 草間 島崎 丸下
	第5回 グループワーク①-2 医療・保健・福祉における臨床工学の役割 臨床工学技士を目指す学生に必要な能力の具体化、グループからチームへ(グループ討議、スライド作成)	大濱 松岡 花田 近土 草間 島崎 丸下
	第6回 グループワーク①-3 医療・保健・福祉における臨床工学の役割 臨床工学技士を目指す学生に必要な能力の具体化、グループ発表	大濱 松岡 花田 近土 草間 島崎 丸下
	第7回 臨床工学技士像の探求① 臨床工学技士の学科教員から話題提供と集団討論 臨床工学技士の業務・求められるスキル、課題提出	近土 真由 美
	第8回 臨床工学技士像の探求② 臨床工学技士の学科教員から話題提供と集団討論 COVID-19における臨床工学技士の役割、課題提出	草間 良昌
	第9回 臨床工学技士像の探求③ 臨床工学技士の学科教員から話題提供と集団討論 チーム医療、多職種を背景に、課題提出	大濱 和也
	第10回 グループワーク②-1 医療・保健・福祉における臨床工学の役割 臨床工学技士像の探求(KJ法、テーマ決定、役割分担)	大濱 松岡 花田 近土 草間 島崎 丸下
	第11回 グループワーク②-2 医療・保健・福祉における臨床工学の役割 臨床工学技士像の探求(グループ討論、スライド作成)	大濱 松岡 花田 近土 草間 島崎 丸下
	第12回 グループワーク②-3 医療・保健・福祉における臨床工学の役割 臨床工学技士像の探求(グループ討論、まとめ、発表スライド作成)	大濱 松岡 花田 近土 草間 島崎 丸下
	第13回 グループワーク②-4 医療・保健・福祉における臨床工学の役割 臨床工学技士像の探求、グループ発表	大濱 松岡 花田 近土 草間 島崎 丸下
	第14回 臨床工学技士像の探求④ 臨床工学技士と医療機器のかかわりについて(ゲストスピーカー) 地球環境と医療(今後の課題と対策)、課題提出	大濱 和也
	第15回 臨床工学技士像の探求⑤ 臨床工学技士業務における最近の話題(ゲストスピーカー) タスク・シフト/シェア、新しい資格と未来、課題提出	大濱 和也
科目の目的	グループワーク学習と集団討論を通して、学生自らの臨床工学技士像を育み、専門基礎分野、専門分野を学ぶ意義を明確にする。カリキュラムマップ【思考・判断・意欲】	

到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 臨床工学技士の職務内容と職域が説明できる。 2. 臨床工学技士を目指す学生として必要な社会的礼節およびコミュニケーションを持って行動できる。 3. 学生自身の臨床工学技士像が説明できる。 4. 臨床工学を学ぶことに興味を持ち、主体的・意欲的に学習する姿勢を示すことができる。
関連科目	全ての専門基礎分野および専門分野の科目
成績評価方法・基準	課題提出：50% グループ討議：20% 発表：30%
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	「大学の学びー専門への誘いー」学習では、予習に比べ復習に時間を費やすことが重要と考える。したがって、60分程度の復習時間を必要とする。
教科書・参考書	教科書：実践身体活動学（三共出版）木村朗担当部分で使用 参考書：特になし
オフィス・アワー	<p>大濱：月曜日～木曜日の午後（16:00～18:00）場所：大濱研究室 木村：開講期間中の火曜日（12:10～12:50）場所；木村朗研究室、メール可（a-kimura@paz.ac.jp） 松岡：アポイント・メール可（matsuoka@paz.ac.jp） 花田：アポイント・メール可（hanada@paz.ac.jp） 近土：12時～18時（研究室18）※要アポイント、メール可（kondo@paz.ac.jp） 島崎：月曜日～木曜日の13時～18時（研究室22）、メール可（n-shimazaki@paz.ac.jp） 齋藤：アポイント・メール可（ma-saito@paz.ac.jp） 丸下：月曜日～金曜日の9時～18時（研究室19）講義中を除く</p>
国家試験出題基準	特になし
履修条件・履修上の注意	特になし
アクティブ・ラーニングの実施	一部講義の中でアクティブラーニングを実施する。

講義科目名称： 多職種理解と連携

授業コード： 3C039

英文科目名称：

対象カリキュラム： 2023年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
大瀧 和也			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2023年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		

講義科目名称： 解剖学 I

授業コード： 3C040

英文科目名称：

対象カリキュラム： 2023年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
浅見 知市郎			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 序論1 解剖学とは何か 器官とその系統 細胞と組織 1 (上皮組織 支持組織)	浅見知市郎
	第2回 序論2 細胞と組織 2 (筋組織 神経組織) 人体の外形と方向用語	浅見知市郎
	第3回 骨格系1 骨格とは何か 骨の形 骨の構造 骨の発生と成長 骨の連結・関節	浅見知市郎
	第4回 骨格系2 頭部の骨 脳頭蓋 顔面頭蓋 鼻腔・副鼻腔	浅見知市郎
	第5回 骨格系3 脊柱 胸郭 上肢帯の骨 上腕の骨	浅見知市郎
	第6回 骨格系4 前腕の骨 手の骨 下肢帯の骨 骨盤 大腿の骨 下腿の骨 足の骨	浅見知市郎
	第7回 筋系1 筋の構造と機能 頭頸部の筋	浅見知市郎
	第8回 筋系2 胸腹部の筋 上肢帯の筋 上腕の筋 前腕の筋 手の筋	浅見知市郎
	第9回 筋系3 下支帯の筋 大腿の筋 下腿の筋 足の筋	浅見知市郎
	第10回 神経系1 神経系の構成 中枢神経系 (脊髓 延髄 橋 小脳)	浅見知市郎
	第11回 神経系2 中枢神経系 (中脳 間脳 大脳)	浅見知市郎
	第12回 神経系3 脳の血管 脳室 脳脊髄膜 脳脊髄液	浅見知市郎
	第13回 神経系4 末梢神経 (脳神経)	浅見知市郎
	第14回 神経系5 末梢神経 (脊髓神経)	浅見知市郎
	第15回 神経系 6 自律神経 (交感神経 副交感神経) 伝導路 (反射路 求心性伝導路 遠心性伝導路)	浅見知市郎
科目の目的	臨床工学技士としての基本知識となる人体の解剖学的構造を習得する。 【知識・理解・表現】、【思考・判断・意欲】	
到達目標	解剖学の総論的知識、人体の基本的な骨・骨格筋・神経系の位置、形態、構造（組織学的、肉眼解剖学的）を説明できる。	
関連科目	解剖学Ⅱ 生理学Ⅰ 生理学Ⅱ	
成績評価方法・基準	試験100%	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	Active Academyで配布する講義資料を理解しながら通読すると、概ね1時間かかるはずである。	
教科書・参考書	教科書：入門人体解剖学 藤田恒夫 南江堂 参考書：特に無し	
オフィス・アワー	講義終了後の休み時間に教室で質問を受け付ける。個別の相談は事前の連絡によって随時対応する (asami@paz.ac.jp)。	
国家試験出題基準	【臨床工学技士】 《専門基礎》- I-(2)-1-(1)-①②③(2)-①～⑤ 2-(1)(2)-①②③(3)-① 8-(1)①② 9-(1)-①②	
履修条件・履修上の注意	Active Academyによる講義資料の配付期間：講義の1週間前から学期末まで。	
アクティブ・ラーニングの実施	実施なし	

講義科目名称： 解剖学Ⅱ

授業コード： 3C041

英文科目名称：

対象カリキュラム： 2023年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
浅見 知市郎			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 脈管系1 血管系総論 心臓 刺激伝導系 心臓の血管(冠状動脈) 第2回 脈管系2 肺循環と体循環 動脈系 静脈系 第3回 脈管系3 胎生時の循環系 リンパ系(リンパ節 リンパ本幹) 脾臓 胸腺 第4回 脈管系4 消化器系1 血液 血球 造血組織 内臓学総論(粘膜 腺) 口腔(歯) 第5回 消化器系2 口腔(口蓋 舌 唾液腺) 咽頭 食道 第6回 消化器系3 胃 小腸(十二指腸 空腸 回腸) 第7回 消化器系4 大腸(盲腸 結腸 直腸) 肝臓 胆嚢 膵臓 第8回 呼吸器系1 鼻腔 副鼻腔 喉頭 気管 気管支 第9回 呼吸器系2 泌尿器系 肺 胸膜 腎臓 尿管 膀胱 尿道 第10回 生殖器系1 男性生殖器(精巣 精巣上体精管 精嚢 前立腺 陰茎 精液 精子) 第11回 生殖器系2 女性生殖器(卵巣 卵管 子宮 膣 外陰部 胎盤) 腹膜 第12回 内分泌系 内分泌系(下垂体 松果体 甲状腺 上皮小体 副腎 膵島) 第13回 感覚器系1 視覚器(眼球 眼球の付属器) 第14回 感覚器系2 平行聴覚器(外耳 中耳 内耳) 第15回 感覚器系3 発生学 皮膚(表皮 真皮 皮下組織 角質器 皮膚の腺) 人体の発生のあらまし	浅見知市郎 浅見知市郎 浅見知市郎 浅見知市郎 浅見知市郎 浅見知市郎 浅見知市郎 浅見知市郎 浅見知市郎 浅見知市郎 浅見知市郎 浅見知市郎 浅見知市郎 浅見知市郎 浅見知市郎 浅見知市郎
科目の目的	臨床工学技士としての基本知識となる人体の解剖学的構造を習得する。 【知識・理解・表現】、【思考・判断・意欲】	
到達目標	脈管系・消化器系・呼吸器系・泌尿器系・生殖器系・内分泌系・感覚器系の基本的な構造と発生学について説明できる。	
関連科目	解剖学Ⅰ 生理学Ⅰ 生理学Ⅱ	
成績評価方法・基準	試験100%	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	Active Academyで配布する講義資料を理解しながら通読すると、概ね1時間かかるはずである。	
教科書・参考書	教科書：入門人体解剖学 藤田恒夫 南江堂 参考書：特に無し	
オフィス・アワー	講義終了後の休み時間に教室で質問を受け付ける。個別の相談は事前の連絡によって随時対応する(asami@paz.ac.jp)。	
国家試験出題基準	【臨床工学技士】 《専門基礎》-Ⅰ-(2)-3-(1)①~④(2)⑤ 4-(1)①②③(2)①(3)①②③(4)①② 5-(1)①②③(2)① 6-(1)①②③ 7-(1)①~④(2)①②(3)①~⑤ 8-(2)①②③ 9-(2)①~⑤ 10-(1)①②(2)①② 12-(1)①~④(2)①②③(3)①②③	
履修条件・履修上の注意	Active Academyによる講義資料の配付期間：講義の1週間前から学期末まで。	
アクティブ・ラーニングの実施	実施なし	

講義科目名称： 生理学 I

授業コード： 3C042

英文科目名称：

対象カリキュラム： 2023年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
岩崎 信一			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 ガイダンス 生理学の基礎の基礎 生理学講義を受講するにあたって 細胞・組織・器官 第2・3回 神経の基本的機能 神経細胞の形態、興奮伝導、興奮伝達 第4・5回 筋肉の基本的機能 筋細胞の形態と興奮、骨格筋の収縮 第6-8回 神経系の機能 末梢神経系(体性神経系、自律神経系)、中枢神経系、運動機能の調節 第9-12回 感覚の生理学 様々な感覚の受容と知覚のメカニズム 第13-15回 睡眠・記憶・情動 脳の高次機能	岩崎 信一 岩崎 信一 岩崎 信一 岩崎 信一 岩崎 信一 岩崎 信一
科目の目的	人体の各部分の構造と機能を学び、医療職に必要な基礎知識を身につける。(ディプロマポリシー【知識・理解・表現】【思考・判断・意欲】に相当)	
到達目標	選択肢の中から、正しい人体の機能や、それを生み出すしくみを選ぶことができる。	
関連科目	解剖学 I・II、生化学	
成績評価方法・基準	講義題目毎に小テストを行う。(解答・解説はAAにて行う) 小テストの平均点×0.5+期末試験の点数×0.5 で最終的な評価を決定する。	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	授業内容および小テストや期末テストの内容は、指定した教科書に準ずる。 そのため、指定した教科書を中心とした予習・復習が単位認定のカギとなる。(約2時間)	
教科書・参考書	教科書：「シンプル生理学 第7版」貴邑富久子、根木英雄(南江堂) 参考書：「標準生理学」(医学書院) 「人体の正常構造と機能」(日本医事新報社) 「トートラ人体の構造と機能」(丸善) 他	
オフィス・アワー	講義日の12:10~12:50(非常勤講師室にて)	
国家試験出題基準	専門基礎 I (2)-1-(1)-①~⑥ 専門基礎 I (2)-2-(2)-②、③ 専門基礎 I (2)-2-(3)-① 専門基礎 I (2)-8-(1)-①、② 専門基礎 I (2)-9-(1)-①、② 専門基礎 I (2)-9-(2)-①~⑤	
履修条件・履修上の注意	15コマ講義なので、5回の欠席で履修放棄となるので注意。	
アクティブ・ラーニングの実施	実施なし。	

講義科目名称： 生理学Ⅱ

授業コード： 3C043

英文科目名称：

対象カリキュラム： 2023年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
岩崎 信一			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1・2回 内分泌系の機能 ホルモンの一般的特徴、内分泌器官の機能 第3-5回 循環の生理学 心臓血管系の基本構造と機能、調節 第6・7回 呼吸の生理学 呼吸器系基本構造と機能、調節 第8・9回 尿の生成と排泄および体液とその調節 腎臓の構造と機能、調整、尿生成、蓄尿と排尿、体液の恒常性を維持する仕組み 第10・11回 消化と吸収 消化管の基本構造と機能、調節 第12・13回 血液の生理学 血液の組成とその機能 第14・15回 体温とその調節 体温の意義とその調節メカニズム	岩崎 信一 岩崎 信一 岩崎 信一 岩崎 信一 岩崎 信一 岩崎 信一 岩崎 信一
科目の目的	人体の各部分の構造と機能を学び、医療職に必要な基礎知識を身につける。(ディプロマポリシー【知識・理解・表現】【思考・判断・意欲】に相当)	
到達目標	選択肢の中から、正しい人体の機能や、それを生み出すしくみを選ぶことができる。	
関連科目	解剖学Ⅰ・Ⅱ、生化学	
成績評価方法・基準	講義題目毎に小テストを行う。(解答・解説はAAにて行う) 小テストの平均点×0.5+期末試験の点数×0.5 で最終的な評価を決定する。	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	授業内容および小テストや期末テストの内容は、指定した教科書に準ずる。 そのため、指定した教科書を中心とした予習・復習が単位認定のカギとなる。(約2時間)	
教科書・参考書	教科書：「シンプル生理学 第7版」貴邑富久子、根木英雄(南江堂) 参考書：「標準生理学」(医学書院) 「人体の正常構造と機能」(日本医事新報社) 「トートラ人体の構造と機能」(丸善) 他	
オフィス・アワー	講義日の12:10~12:50(非常勤講師室にて)	
国家試験出題基準	専門基礎Ⅰ(2)-3-(1)-①~④ 専門基礎Ⅰ(2)-3-(2)-①~⑥ 専門基礎Ⅰ(2)-4-(1)-①~③ 専門基礎Ⅰ(2)-4-(2)-①~③ 専門基礎Ⅰ(2)-4-(3)-①~③ 専門基礎Ⅰ(2)-4-(4)-①、② 専門基礎Ⅰ(2)-5-(1)-①~③ 専門基礎Ⅰ(2)-5-(2)-①~③ 専門基礎Ⅰ(2)-5-(3)-① 専門基礎Ⅰ(2)-6-(1)-①~③ 専門基礎Ⅰ(2)-6-(2)-①~② 専門基礎Ⅰ(2)-6-(3)-①~③ 専門基礎Ⅰ(2)-7-(1)-①~④ 専門基礎Ⅰ(2)-7-(2)-①、② 専門基礎Ⅰ(2)-7-(3)-①~⑤ 専門基礎Ⅰ(2)-8-(2)-①~③ 専門基礎Ⅰ(2)-10-(2)-①、②	
履修条件・履修上の注意	15コマ講義なので、5回の欠席で履修放棄となるので注意。	
アクティブ・ラーニングの実施	実施なし。	

講義科目名称： 生理学演習

授業コード： 3C044

英文科目名称：

対象カリキュラム： 2023年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
湯本 真人			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2023年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		

講義科目名称： 生化学

授業コード： 3C045

英文科目名称：

対象カリキュラム： 2023年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
木村 鮎子			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 生化学を学ぶための基礎 生化学で基礎となる生体構成成分，単位，臨床化学への応用	木村鮎子
	第2回 糖質 糖質の基礎（構造，異性体），糖質の分類（二糖類，多糖類，複合糖質）	木村鮎子
	第3回 脂質 脂質の基礎，脂質の分類（単純脂質，複合脂質，誘導脂質，その他の脂質）	木村鮎子
	第4回 タンパク質とアミノ酸 アミノ酸（構造と種類，特徴），ペプチド結合，タンパク質（分類，構造，性状） ンパク質を構成するアミノ酸の分類、性質、病態との関連などについて解説する。	木村鮎子
	第5回 酵素 酵素の分類と性質，酵素反応速度論，酵素活性の調節 る。さらに、遺伝子の変異に伴い発症する病態について解説する。	木村鮎子
	第6回 核酸 核酸の基礎（構造等），核酸の種類，遺伝子	木村鮎子
	第7回 ビタミン ビタミンの分類（脂溶性ビタミン，水溶性ビタミン），ビタミン欠乏症	木村鮎子
	第8回 ホルモン ホルモンの分類とその機能，各種ホルモンによる生体調節，ホルモンと疾患との関係	木村鮎子
	第9回 ミネラル ミネラルの生理的意義，多量ミネラル（Na，K，Cl等），微量ミネラル（Fe，Zn等）	木村鮎子
	第10回 糖質代謝（1） 糖代謝の概要，糖の消化と吸収，解糖系，TCA回路	木村鮎子
	第11回 糖質代謝（2） 糖新生，グリコーゲン合成と分解，ペントースリン酸回路，糖代謝異常と疾患	木村鮎子
	第12回 脂質代謝 脂肪酸の生合成と酸化，ケトン体，各脂肪酸の代謝，コレステロールの合成・輸送・蓄積，代謝異常	木村鮎子
	第13回 タンパク質の分解とアミノ酸代謝 タンパク質の分解とアミノ酸プール，アミノ酸代謝（エネルギー源，尿素生成），代謝異常	木村鮎子
	第14回 核酸代謝 核酸の生合成と分解	木村鮎子
	第15回 生体エネルギー、中間代謝とまとめ 高エネルギーリン酸化合物，呼吸鎖と酸化的リン酸化，3大栄養素の代謝の相互関係とまとめ	木村鮎子
科目の目的	生命現象の基本原理とそれに関連する病態を分子レベルで理解することで、化学的根拠に基づいた視点を有する医療人の育成を目指す。【知識・理解・表現】 【思考・判断・意欲】	
到達目標	生体内の様々な化学物質による生命現象を理解したうえで、それらが各種病態においてどのように関係しているのかを理解する。	
関連科目	医学概論、臨床生化学	
成績評価方法・基準	定期試験（100%）	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	有機化学および生物学の基礎知識を必要とする。準備学習に必要な学習時間の目安は概ね1時間程度。	
教科書・参考書	教科書：指定する教科書は無い。講義ごとに資料を適宜配布する。 参考書：栄養科学シリーズ NEXT 生化学（講談社）加藤 秀夫・中坊 幸弘 編 栄養科学イラストレイテッド生化学 改定第3版（羊土社） 菌田 勝 編	
オフィス・アワー	講義終了後教室または研究室にて質問を受け付ける 質問は E-mail（ay-kimura@paz.ac.jp）でも随時受け付ける	

国家試験出題基準	《専門基礎Ⅰ》(1)-4-(1)～(2)
履修条件・履修上の注意	特になし
アクティブ・ラーニングの実施	なし

講義科目名称： 基礎医学実習

授業コード： 3C046

英文科目名称：

対象カリキュラム： 2023年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
西村 裕介			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2023年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		

講義科目名称： 医学概論

授業コード： 3C047

英文科目名称：

対象カリキュラム： 2023年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
長田 薫			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 医学と医療 基礎医学，社会医学，臨床医学と医療	長田
	第2回 医学・医療の歴史 古代の医学／医療、近代の医学／医療	長田
	第3回 医療制度 日本の医療制度 世界の医療制度	長田
	第4回 チーム医療 チーム医療とは 医療チームとは	長田
	第5回 疾患分類と公衆衛生 各疾患分類について 公衆衛生とは 4大公害病	長田
	第6回 パンデミック；世界的大流行について パンデミックの歴史 COVID-19について	長田
	第7回 医の倫理 医療の倫理の歴史 医療関連法規	長田
	第8回 医療事故 医療業界以外の事例と事故対策 医療事故	長田
	第9回 病院内の各部門と役割 外来診療・救急診療・入院診療・手術などの診療部、看護部、検査部、薬剤部、事務部など	長田
	第10回 医療現場での臨床工学 人工呼吸器関連、血液浄化関連、人工心肺関連、心臓カテーテル関連	長田
	第11回 患者・家族の心理 患者の不安 患者の常識Vs医療者の常識 終末期の患者の心理	長田
	第12回 インフォームド・コンセント：IC ICの歴史 ICの実際 ICの問題点	長田
	第13回 人体の構造 各臓器の構造と機能	長田
	第14回 医療の動向 医療費 これからの医療体制	長田
	第15回 医学概論の復習	長田
科目の目的	幅広い知識と教養をもって医療に貢献できるように、医学の概要および歴史を知り、わが国の保健・医療・福祉に関する制度を理解する。疾病による患者の心理的特徴や医の倫理、医療従事者の職業的倫理について考え、医療従事者としての心構え、プロフェッショナリズムなどを学ぶ。関連科目（後記）の知識をもとに、医療保健制度に関わる基礎、その歴史、関連事項を修得する。到達度は試験により判定する。【知識・理解・表現】	
到達目標	1. 医学と医療の歴史 2. 病院の役割 3. 医療制度と医療施設 4. チーム医療 5. 人体の構造と機能 6. 医の倫理 7. 医療事故と対策 について簡潔に説明できる。	
関連科目	公衆衛生学，解剖学 I、II，生化学，生理学I、II，病理学	
成績評価方法・基準	定期試験100%により成績を評価する。採点の基準は100点満点のうち60点以上を合格とする。授業回数3分の1以上の欠席がある場合には試験成績は無効。筆記試験をおこなう。	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	各回の授業内容について予習・復習を行い理解しておく。 準備学習時間は30分。	
教科書・参考書	指定する教科書は無い、参考資料の提示、資料を適宜配布する。	
オフィス・アワー	授業の前後 場所：講義室	
国家試験出題基準	《専門基礎Ⅰ》-(1)-1-(1)～(7)	
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施	病院の役割、チーム医療などに関しては、学生参加型でディスカッションを検討	

講義科目名称： 公衆衛生学

授業コード： 3C048

英文科目名称：

対象カリキュラム： 2023年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
木村 博一	木村朗		

授業形態	講義	担当者
授業計画	<p>第1回 公衆衛生学総論・新型コロナウイルス感染症の概要 公衆衛生学・新型コロナウイルス感染症の概要について講義する。</p> <p>第2回 感染症疫学総論 感染症疫学について概説する。</p> <p>第3回 感染症各論 結核、エイズならびに新興再興感染症について概説する。</p> <p>第4回 疫学総論（集団の健康と疾病の概念） 疫学概要、記述疫学、分析疫学ならびにコホート研究について概説する。</p> <p>第5回 疫学各論（疫学の方法） 系統誤差・偶発誤差、因果関係論ならびに保健統計について概説する。</p> <p>第6回 生活習慣病総論（ライフスタイルと健康） NCDの概要、動脈硬化性疾患、予防ならびに健康教育について概説する。</p> <p>第7回 親子保健（発達・成長と健康） 親子保健（発達・成長と健康）の概要と課題について概説する。</p> <p>第8回 労働衛生・産業保健の概要 社会・環境と健康の概要と課題について概説する。</p> <p>第9回 健康危機管理（1） 食品衛生・食の安全について概説する。</p> <p>第10回 健康危機管理（2） 感染症発生時や災害時の対応について概説する。</p> <p>第11回 院内感染対策概説 院内感染の現状と対策について概説する。</p> <p>第12回 成人・精神保健概説 精神保健や自殺対策について概説する。</p> <p>第13回 生活環境・環境と健康・地球温暖化 生活環境・環境と健康・地球温暖化などの諸問題について概説する。</p> <p>第14回 保健医療行政概説 地域包括ケアシステムを含む保健医療行政について概説する。</p> <p>第15回 がんの統計と疫学 がん対策・がん登録について概説する。</p>	<p>木村博一</p> <p>木村博一</p> <p>木村博一</p> <p>木村 朗</p> <p>木村 朗</p> <p>木村 朗</p> <p>木村 朗</p> <p>木村 朗</p> <p>木村博一</p> <p>木村博一</p> <p>木村博一</p> <p>木村 朗</p> <p>木村 朗</p> <p>木村 朗</p> <p>木村 朗</p>
科目の目的	健康及び公衆衛生の基本的概念を学習する。各種疾患対策、環境対策と統計、疫学、健康教育、試験検査が織りなす総合科学であり、活動であることを理解する。【知識・理解・表現】【思考・判断・意欲】	
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 生活者の健康の保持・増進を目的とする公衆衛生活動を理解する。 2. 公衆衛生活動は、政治、経済、社会の動向と密接に関連していることを理解し、広い視野を養う。 3. 公衆衛生活動の基礎的技法として、集団からアプローチする疫学、保健統計、地域組織活動等を理解する。 	
関連科目	生命倫理、環境学、社会学、情報処理	
成績評価方法・基準	定期試験（期末試験）100%	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	準備学習に必要な学習時間の目安 1コマあたり2時間	
教科書・参考書	<p>【教科書】 「社会・環境と健康 公衆衛生学 2022年版」柳川 洋、尾島 俊之 編集（医歯薬出版）</p> <p>【教科書】 「身体活動学入門」木村 朗（三共出版）</p>	
オフィス・アワー	講義の前後に質問を受け付ける（木村博一・木村朗） e-mail（木村博一）：h-kimura@paz.ac.jp；木村朗：a-kimura@paz.ac.jp e-mail（木村朗）：a-kimura@paz.ac.jp	
国家試験出題基準	《専門基礎Ⅰ》-(1)-2-(1)-①～③、-(1)-2-(2)-①～③、-(1)-2-(3)-①～⑥、-(1)-2-(4)-①～②、-(1)-2-(5)-①～④、-(1)-2-(6)-①～③	
履修条件・履修上の注意		

アクティブ・ラーニングの実施	課題を提示するので、それまでに学習した内容を駆使して各自回答を仕上げるセッションを設ける。
----------------	---

講義科目名称： 病理学

授業コード： 3C049

英文科目名称：

対象カリキュラム： 2023年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
田村 遵一			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 序論 病理学とは 病因論 内因外因。公害病と医原病。疾病の分類。	田村 遵一
	第2回 先天異常 奇形。奇形の種類。遺伝の関与。遺伝異常による疾患。遺伝性疾患の診断と治療。	田村 遵一
	第3回 代謝異常1 細胞の障害と適応。変性。壊死とアポトーシス。細胞の適応。	田村 遵一
	第4回 代謝異常2 物質沈着による細胞障害。脂質代謝異常と疾患。タンパク質代謝異常と疾患。	田村 遵一
	第5回 代謝異常3 糖代謝異常と疾患。有機質、無機質代謝の異常と疾患。	田村 遵一
	第6回 循環障害1 循環器系 循環血液量の異常。充血うっ血、出血虚血、ショック。	田村 遵一
	第7回 循環障害2 閉塞性の循環障害。血栓症。播種性血管内凝固。塞栓症。側副循環。リンパ系疾患。	田村 遵一
	第8回 炎症と免疫、膠原病1 炎症の原因、経過、治療。創傷治癒。炎症の各型。	田村 遵一
	第9回 炎症と免疫、膠原病2 免疫とアレルギー。自然免疫系と適応免疫系。免疫担当細胞。抗体と補体。能動免疫と受動免疫。	田村 遵一
	第10回 炎症と免疫、膠原病3 免疫不全。先天性免疫不全。HIV感染症。移植と自己免疫。主要組織適合複合体。膠原病。	田村 遵一
	第11回 腫瘍1 腫瘍の定義と分類。異型度、分化度、悪性度。悪性腫瘍の転移と進行度。	田村 遵一
	第12回 腫瘍2 腫瘍の発生病理。腫瘍の発生原因。がん発生の外因、内因。	田村 遵一
	第13回 腫瘍3 悪性腫瘍の診断、治療、予防。	田村 遵一
	第14回 老化と死 老化とは？ 死とは？	田村 遵一
	第15回 病理検査 病理検査の意義。細胞診、組織診。手術時の迅速診断。病理解剖。病理組織、細胞診の作製過程。	田村 遵一
科目の目的	臨床工学には、疾患・病気に対する臨床的知識と理解が必要とされる。実臨床へ関わるには、疾患を学ぶことが大切であり、その一助として、疾患の原因・経過および結果を追及し、形態機能的変化を明らかにする病理学を学ぶ。先天異常、代謝異常、循環異常、炎症、腫瘍という病因の五大カテゴリーと、老化と死について、その概略を学ぶ。 関連科目（後記）の知識をもとに、疾患、病気に関わる臨床的基礎を修得する。到達度は試験により判定する。 【知識・理解・表現】 【思考・判断・意欲】	
到達目標	臨床工学領域にたずさわる上で将来に亘り必要とされる、病理学（疾患とその病態）にかかわる事項の理解と知識を得る。	
関連科目	生化学 解剖学Ⅰ、Ⅱ 生理学Ⅰ、Ⅱ 薬理学（1年時の履修科目のうち）	
成績評価方法・基準	試験（80％）、出席状況等（20％）	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	講義内容の重要事項を復習理解する。講義前に授業資料(Active Academy)のレポート提出欄に添付されるファイル)に目を通し、講義内容を事前把握しておくが良い。0.3時間	
教科書・参考書	参考書：シンプル病理学 改訂第7版 南江堂 入門人体解剖学 改訂第5版 南江堂	
オフィス・アワー	講義の前後 場所：講義室	

国家試験出題基準	専門基礎 I - (1) - 6- (1) 、 I - (1) - 6- (2) 、 I - (1) - 6- (3)
履修条件・履修上の注意	60%以上の理解度達成をもって、履修完了とする。 達成できない場合は再試験をする。
アクティブ・ラーニングの実施	特になし

講義科目名称： 病理学演習

授業コード： 3C050

英文科目名称：

対象カリキュラム： 2023年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
湯本 真人			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2023年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		

講義科目名称： 臨床生化学

授業コード： 3C051

英文科目名称：

対象カリキュラム： 2023年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
前田 国見			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2023年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		

講義科目名称： 臨床免疫学

授業コード： 3C052

英文科目名称：

対象カリキュラム： 2023年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
白井 達也			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2023年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
栗田 昌裕			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 薬理学とは 薬理学の基本知識。薬物治療に影響を与える因子。	栗田昌裕
	第2回 薬物動態 投与経路と薬の吸収。分布、代謝、排泄。	栗田昌裕
	第3回 麻酔薬と中枢興奮薬 全身麻酔薬。局所麻酔薬。中枢興奮薬。	栗田昌裕
	第4回 解熱鎮痛薬・抗炎症薬と麻薬 解熱鎮痛薬・抗炎症薬。麻薬性鎮痛薬・麻薬拮抗性鎮痛薬。	栗田昌裕
	第5回 向精神薬と抗痙攣薬 向精神薬。抗痙攣薬（抗てんかん薬）。	栗田昌裕
	筋弛緩薬と抗パーキンソン薬 筋弛緩薬の作用と応用。パーキンソン症候群の理解と抗パーキンソン薬の作用。	栗田昌裕
	第6回 自律神経薬 自律神経の基礎知識。 コリン作動薬とコリン作動性効果遮断薬。 アドレナリン作動薬とアドレナリン遮断薬。	栗田昌裕
	第7回 オータコイド オータコイドの種類とその作用。プロスタグランディンの臨床応用。	栗田昌裕
	第8回 強心薬 強心薬（ジギタリス）の投与方法。ジギタリスの副作用とその対策。 抗狭心症薬と抗不整脈薬 狭心症治療薬の作用と投与方法。不整脈の分類と治療。抗不整脈薬の種類。	栗田昌裕
	第9回 利尿薬と降圧薬 利尿薬。利尿薬の臨床的応用。降圧薬。抗動脈硬化薬。	栗田昌裕
	第10回 消化器病薬と駆虫薬 消化性潰瘍治療薬。健胃・消化薬。消化管運動促進薬。 制吐薬。下痢と止痢薬。潰瘍性大腸炎・クローン病治療薬。駆虫薬。	栗田昌裕
	第11回 呼吸器病薬 呼吸器病薬。抗結核薬。	栗田昌裕
	第12回 内分泌薬 下垂体ホルモン・甲状腺ホルモン・糖尿病治療薬。 副腎皮質ホルモン・男性ホルモン・生殖系内分泌薬。	栗田昌裕
	第13回 血液病薬と抗癌薬 貧血の薬。止血薬。抗血栓療法薬。 抗癌薬の開発と化学療法。抗癌薬の副作用と組み合わせ。	栗田昌裕
	第14回 化学療法薬と免疫療法薬 化学療法薬。抗ウイルス剤。免疫について。免疫療法。	栗田昌裕
第15回 消毒薬 滅菌・消毒法。消毒薬の濃度と殺菌速度。	栗田昌裕	
科目の目的	ディプロマ・ポリシーとの関連では、「医学分野の基本的知識及び展開される医療分野に対応できるスキルを身につけ、実践に活かす能力」及び「思考力・洞察力・判断力を身につけ、医療分野における諸課題について国際的知識水準を背景に解決する能力」を得ることを目的とする科目である。具体的には、医療の中で投薬（服薬、注射、輸液、外用など）の役割は大きい。そこで、医療に携わる者は「薬物の種類とその作用に関する基本的な知識」を持ち、しかもそれに「的確な理解」が伴っている必要がある。薬理学概論ではそれらを見通しよく学習する。具体的にはその内容は以下の通りである。1) 薬理学の役割、構成、新薬の開発、医薬品の歴史、など薬理学の基本的知識を学ぶ。2) 薬物治療に影響を与える因子として、生体側、薬物側の因子を学び、副作用に関しても学ぶ。3) 薬の生体内運命と薬効との関係を学ぶ。ここでは、投与経路と吸収、分布・代謝・排泄に関して学ぶ。4) 薬物の種類と作用メカニズムの概略を系統的に学ぶ。【知識・理解・表現】 【思考・判断・意欲】	
到達目標	薬物動態に関する基本的知識を得ること、薬物の作用機序による分類を知ること、主要な薬剤の適用に関する基礎的知識を持つこと、禁忌に関して学ぶこと。以上に関して、臨床工学技士に必要とされるレベルに到達することを目標とする。	
関連科目	生理学Ⅰ・Ⅱ、生化学	
成績評価方法・基	試験（100％）。	

準	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	短期間の間に広範な内容を学ぶことになるので、毎回の講義で学んだことをよく復習することが望ましい。その際に、これまでに学んだ疾患に関する知識をよく思い出し、関連付けを明確にしておく。それが次回の内容を受け入れやすくなり、準備学習を兼ねることになる。復習時間は約1時間。
教科書・参考書	教科書：使用しない。 参考書：「系統看護学講座 専門基礎分野 薬理学 疾病の成り立ちと回復の促進3」（医学書院）。
オフィス・アワー	火曜日の昼休み。
国家試験出題基準	【臨床工学技士】以下の内容に関係している。 <専門基礎Ⅰ>-5.薬理学の基礎 (1)-①~⑤、(2)-①~④ <専門Ⅴ>-(11)-1-(1)、(2)、(4) (11)-2-(1)~(4)
履修条件・履修上の注意	Active Academyにより資料を事前配布します。配布期間は「授業前日から授業日まで」。持参方法は「各自印刷して授業に持参すること」。
アクティブ・ラーニングの実施	施行せず

講義科目名称： 薬理学演習

授業コード： 3C054

英文科目名称：

対象カリキュラム： 2023年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
湯本 真人			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2023年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		

講義科目名称： チーム医療概論

授業コード： 3C055

英文科目名称：

対象カリキュラム： 2023年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	3学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
木村 博一			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2023年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		

講義科目名称： 医療関係法規

授業コード： 3C056

英文科目名称：

対象カリキュラム： 2023年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
齋藤 慎			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2023年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		

講義科目名称： 臨床心理学

授業コード： 3C057

英文科目名称：

対象カリキュラム： 2023年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
鎌田 依里			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2023年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		

講義科目名称： 臨床神経生理学

授業コード： 3C058

英文科目名称：

対象カリキュラム： 2023年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	2単位	選択
担当教員	担当者		
森下 義幸			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2023年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		

講義科目名称： 臨床検査学総論

授業コード： 3C059

英文科目名称：

対象カリキュラム： 2023年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	2単位	選択
担当教員	担当者		
三浦 佑介			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2023年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		

アクティブ・ラーニングの実施	なし
----------------	----

講義科目名称： 医用電気工学 I

授業コード： 3C061

英文科目名称：

対象カリキュラム： 2023年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
三浦 健太			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 「医用電気工学」とは 物質の電氣的性質、電磁場、電磁気学	三浦 健太
	第2回 電荷と電界 電荷、電界、電気力線、電束、ガウスの法則	三浦 健太
	第3回 電圧と電位 仕事、ポテンシャルエネルギー、電圧と電位	三浦 健太
	第4回 静電界の性質 導体と静電界、誘電体と静電界、静電界の性質	三浦 健太
	第5回 電流と抵抗 電流の定義、電流密度、オームの法則	三浦 健太
	第6回 キャパシタ (コンデンサ) キャパシタの役割、静電容量、誘電率、合成容量、キャパシタが蓄えるエネルギー、充放電	三浦 健太
	第7回 前半のまとめ ポイントの整理と問題演習	三浦 健太
	第8回 磁気の性質 磁界、クーロンの法則、磁束と磁束密度、磁化とヒステリシス	三浦 健太
	第9回 電流がつくる磁界 直線電流による磁界、円電流がつくる磁界、ローレンツ力	三浦 健太
	第10回 電磁誘導 ファラデーの法則、レンツの法則、誘導起電力、フレミングの右手の法則	三浦 健太
	第11回 インダクタ (コイル) インダクタンス、自己誘導、相互誘導、インダクタに蓄えられるエネルギー	三浦 健太
	第12回 電磁力 フレミングの左手の法則、電流力、電磁力による仕事	三浦 健太
	第13回 電力装置 変圧器 (トランス)、電動機 (モーター)、発電機	三浦 健太
	第14回 電磁波の性質 電磁波の種類、放射と伝搬、電磁波障害とノイズ対策	三浦 健太
	第15回 後半のまとめ ポイントの整理と問題演習	三浦 健太
科目の目的	医療技術専門職としての医工学分野の基本的知識を身につける。具体的には、電気回路理論に関係する現象・法則を学習し、臨床工学技士に必要な電気工学の知識を習得する。【知識・理解・表現】	
到達目標	電気工学に関する基礎的な知識を十分に確保して、応用的な問題の解決に結びつける。	
関連科目	基礎数学、数学、基礎物理学、物理学、応用数学、医用電気工学Ⅱ、医用電気工学実習、医用電子工学	
成績評価方法・基準	定期試験 (100%)	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	毎週30分から1時間程度を目安に復習をし、前回までの内容を理解してから毎回の講義に臨むようにしてください (教科書の演習や章末問題を自力で解けるようになっておくことが望ましい)。	
教科書・参考書	教科書：「臨床工学講座 医用電気工学1・2 (第2版)」戸畑裕志・中島章夫・福長一義 編著 (医歯薬出版)	
オフィス・アワー	授業の前後 (場所：非常勤講師室)	
国家試験出題基準	<< 専門基礎 >> - II - (1) - 1 - (1) - ① ~ ⑫ << 専門基礎 >> - II - (1) - 1 - (2) - ① ~ ⑩ << 専門基礎 >> - II - (1) - 1 - (3) - ① ~ ④ << 専門基礎 >> - II - (1) - 2 - (1) - ① ~ ③ << 専門基礎 >> - II - (1) - 2 - (2) - ① ~ ⑧ << 専門基礎 >> - II - (1) - 2 - (3) - ① ~ ⑨ << 専門基礎 >> - II - (1) - 2 - (5) - ① ~ ③ << 専門基礎 >> - II - (1) - 3 - (1) - ① ~ ③ << 専門基礎 >> - II - (1) - 3 - (2) - ① ~ ② << 専門基礎 >> - II - (1) - 3 - (3) - ① ~ ②	

履修条件・履修上の注意	特にありませんが、授業中に別途指示があった場合はそれに従ってください。
アクティブ・ラーニングの実施	無し

講義科目名称： 医用電気工学Ⅱ

授業コード： 3C062

英文科目名称：

対象カリキュラム： 2023年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
三浦 健太			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 医用電気工学Ⅰの復習 身のまわりの電気現象、静電気、医療機器での電気の役割	三浦 健太
	第2回 電流と電圧の関係 電荷と電流、電圧と電位	三浦 健太
	第3回 直流回路① オームの法則、電圧降下、合成抵抗	三浦 健太
	第4回 直流回路② 複雑な回路の解法、抵抗の測定方法	三浦 健太
	第5回 直流回路③ ブリッジ回路、電圧・電流の測定、電圧源と内部抵抗	三浦 健太
	第6回 電流の発熱作用と電気エネルギー 仕事とエネルギー、ジュール熱、電力量、電力、送配電	三浦 健太
	第7回 前半のまとめ ポイントの整理と問題演習	三浦 健太
	第8回 交流回路① 直流と交流の違い、正弦波交流	三浦 健太
	第9回 交流回路② キャパシタ、インダクタ、インピーダンスとアドミタンス	三浦 健太
	第10回 交流回路③ 直列回路	三浦 健太
	第11回 交流回路④ 並列回路	三浦 健太
	第12回 交流回路⑤ 共振、交流の電力	三浦 健太
	第13回 CR回路の応用 ハイパスフィルタ、ローパスフィルタ、CR直列回路の医療機器への応用	三浦 健太
	第14回 過渡現象 CR直列回路の充電と放電、CR直列回路と方形波	三浦 健太
	第15回 後半のまとめ ポイントの整理と問題演習	三浦 健太
科目の目的	医療技術専門職としての医工学分野の基本的知識を身につける。具体的には、電気回路理論に関する現象・法則を学習し、臨床工学技士に必要な電気工学の知識を習得する。【知識・理解・表現】	
到達目標	電気工学に関する基礎的な知識を十分に確保して、応用的な問題の解決に結びつける。	
関連科目	基礎数学、数学、基礎物理学、物理学、応用数学、医用電気工学Ⅰ、医用電気工学実習、医用電子工学	
成績評価方法・基準	定期試験(100%)	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	毎週30分から1時間程度を目安に復習をし、前回までの内容を理解してから毎回の講義に臨むようにしてください(教科書の演習や章末問題を自力で解けるようになっておくことが望ましい)。	
教科書・参考書	教科書：「臨床工学講座 医用電気工学1・2(第2版)」戸畑裕志・中島章夫・福長一義 編著(医歯薬出版) ※「医用電気工学Ⅰ」と同じ教科書を使用します。	
オフィス・アワー	授業の前後(場所：非常勤講師室)	
国家試験出題基準	<<専門基礎>>-Ⅱ-(1)-1-(1)-①~⑫ <<専門基礎>>-Ⅱ-(1)-1-(2)-①~⑩ <<専門基礎>>-Ⅱ-(1)-1-(3)-①~④ <<専門基礎>>-Ⅱ-(1)-2-(1)-①~③ <<専門基礎>>-Ⅱ-(1)-2-(2)-①~⑧ <<専門基礎>>-Ⅱ-(1)-2-(3)-①~⑨ <<専門基礎>>-Ⅱ-(1)-2-(4)-①~⑩ <<専門基礎>>-Ⅱ-(1)-2-(5)-①~③ <<専門基礎>>-Ⅱ-(1)-3-(1)-①~③ <<専門基礎>>-Ⅱ-(1)-3-(2)-①~② <<専門基礎>>-Ⅱ-(1)-3-(3)-①~②	

履修条件・履修上の注意	特にありませんが、授業中に別途指示があった場合はそれに従ってください。
アクティブ・ラーニングの実施	無し

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
松岡 雄一郎	花田三四郎		

授業形態	実習	担当者
授業計画	第1回 ガイダンス 実習ガイダンス、デジタルマルチメータの使用法 第2回 直流回路 1：抵抗合成とオームの法則1 ブレッドボード上での回路制作、合成抵抗、オームの法則 第3回 直流回路 2：抵抗合成とオームの法則2 ブレッドボード上での回路制作、合成抵抗、オームの法則、発熱 第4回 直流回路 3：キルヒホッフの法則1 複雑な回路の各部の電流と電圧の関係 第5回 直流回路 4：キルヒホッフの法則2 複雑な回路の各部の電流と電圧の関係 第6回 直流回路 5：ホイートストンブリッジ回路1 ホイートストンブリッジによる抵抗測定 第7回 直流回路 6：ホイートストンブリッジ回路2 ホイートストンブリッジによる抵抗測定 第8回 交流回路 1：フィルター回路1 交流機器の使用練習とフィルター回路 第9回 交流回路 2：フィルター回路2 交流機器の使用練習とフィルター回路 第10回 交流回路 3：LCR共振回路1 LCR直列共振回路の周波数特性 第11回 交流回路 4：LCR共振回路2 LC並列共振回路の周波数特性 第12回 平行平板コンデンサーと過渡現象1 自作コンデンサの容量、過渡現象と時定数 第13回 平行平板コンデンサーと過渡現象2 自作コンデンサの容量、過渡現象と時定数 第14回 コイルと磁性1 コイルが作る磁界と磁性体の磁化特性 第15回 その他、小さな実験 モーター、光学実験	松岡 花田 松岡 花田 松岡 花田 松岡 花田 松岡 花田 松岡 花田 松岡 花田 松岡 花田 松岡 花田 松岡 花田 松岡 花田 松岡 花田 松岡 花田 松岡 花田 松岡 花田
科目の目的	実物の回路の配線、器具の取扱い、測定の実現、レポート作成技術を身につける。医用電気工学の理解の補助の意味合いも持つ。【知識・理解・表現】 【思考・判断・意欲】	
到達目標	電気工学で学ぶ各回路に関して実験回路を配線・測定し、その結果を吟味し、論理的に他人に伝える能力を身につける。	
関連科目	医用電気工学	
成績評価方法・基準	レポート (40%)、予習レポート (50%)、機材操作・回路組み・データ処理などへの積極性 (10%) レポートの返却は概ね2週間後。	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	関連教科書を熟読し、実験前に「原理、測定手順、測定結果予想」を書き記した予習レポートを作成しておく。1時間程度の予習と実験後に1時間程度のレポート作成時間を要する。	
教科書・参考書	教科書：配布実習書 (10月中旬にAAAにアップロード) 参考書：臨床工学講座「医用電気工学1・2 (第2版)」 (医歯薬出版)	
オフィス・アワー	花田・松岡 10:00-18:00	
国家試験出題基準	《専門基礎》Ⅱ-(1)-1-(1)-⑩~⑫、 -(2)-①~③、⑤ -(3)-① -2-(1)、 -(2)-①~③、⑤、⑦~⑧、 -(3)-①~③、⑥~⑧、 -(4)-①、④~⑨、 -(5)、 -3-(2)-①	
履修条件・履修上の注意		

アクティブ・ラーニングの実施	実施なし
----------------	------

講義科目名称： 医用電子工学

授業コード： 3C064

英文科目名称：

対象カリキュラム： 2023年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
三浦 健太			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2023年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		

講義科目名称： 医用電子工学実習

授業コード： 3C065

英文科目名称：

対象カリキュラム： 2023年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
松岡 雄一郎			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2023年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
丸下 洋一	松岡 雄一郎		

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 生体計測の基礎Ⅰ 計測論、測定誤差と測定値の処理	松岡 雄一郎
	第2回 生体計測の基礎Ⅱ 生体情報の性質と計測	松岡 雄一郎
	第3回 生体情報の計測Ⅰ 計測器の構成とその特性①	松岡 雄一郎
	第4回 生体情報の計測Ⅱ 計測器の構成とその特性②	松岡 雄一郎
	第5回 生体情報の計測Ⅲ 計測方法	松岡 雄一郎
	第6回 生体計測の雑音対策 雑音対策と信号処理	松岡 雄一郎
	第7回 生体電気・磁気現象の計測Ⅰ 心臓循環器計測	丸下 洋一
	第8回 生体電気・磁気現象の計測Ⅱ 脳・神経系計測	丸下 洋一
	第9回 生体の物理・化学現象の計測Ⅰ 循環関連の計測	丸下 洋一
	第10回 生体の物理・化学現象の計測Ⅱ 呼吸関連の計測	丸下 洋一
	第11回 生体の物理・化学現象の計測Ⅲ 血液ガス分析計測、体温計測	丸下 洋一
	第12回 画像診断法Ⅰ 核磁気共鳴画像計測	松岡 雄一郎
	第13回 画像診断法Ⅱ X線による画像計測、RI(ラジオアイソトープ)による画像計測	丸下 洋一
	第14回 画像診断法Ⅲ 生体の超音波特性を利用した計測、内視鏡画像計測	丸下 洋一
	第15回 問題演習 国家試験問題の演習と解説	丸下 洋一
科目の目的	生体計測に必要な電気計測の基礎から、生体情報の性質とその計測法を学習し、生体計測における基礎知識について理解を深める。具体的には、総論として、測定誤差と測定値の処理、生体情報の性質と計測、また、各論として、生体電気磁気現象の計測、生体の電気特性を利用した計測、生体と放射線の相互作用を利用した計測、生体の超音波特性を利用した計測、生体化学量の計測、生体情報の処理、画像計測、検体計測などを学ぶ。複雑化・高度化する医療技術に対応し、医療現場における安全性の向上に貢献できる確かな技術と知識が必要とされている。そこで、多様な情報を適切に分析し、問題解決する方法を理解し、保健医療専門職として基本的知識と社会人として必要な教養を身につける。 【知識・理解・表現】	
到達目標	生体計測の基礎知識である生体の電気、磁気、物理・化学現象などの各種生体計測方法を学び、それらの原理や計測方法が理解でき、説明できるようになる。	
関連科目	生体計測装置学、医用機器学概論、基礎工学実験	
成績評価方法・基準	定期試験100%	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	復習を行い、各自知識整理を行うこと。準備学習に必要な学習時間の目安は概ね1時間程度。	
教科書・参考書	教科書：「生体計測装置学」医歯薬出版 臨床工学講座。 参考書：「臨床工学技士標準テキスト」金原出版。	
オフィス・アワー	平日16～18時	
国家試験出題基準	専門Ⅲ-(1)-1-(1)～(5) 専門Ⅲ-(1)-2-(1)～(6) 専門Ⅲ-(2)-1-(1)～(3)①、(3)③、(4)① 専門Ⅲ-(2)-2	
履修条件・履修上の注意		

アクティブ・ラーニングの実施	実施なし
----------------	------

講義科目名称： 医用超音波工学

授業コード： 3C067

英文科目名称：

対象カリキュラム： 2023年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
松岡 雄一郎			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2023年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		

講義科目名称：放射線工学概論

授業コード：3C068

英文科目名称：

対象カリキュラム：2023年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
西澤 徹			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2023年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		

講義科目名称： 医用機械工学

授業コード： 3C069

英文科目名称：

対象カリキュラム： 2023年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
花田 三四郎			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2023年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		

関連科目	化学、基礎化学、物理学、基礎物理学、医用機械工学、計測工学、生体物性工学
成績評価方法・基準	実験科目のため必ず全ての講義に参加し、レポート提出も必ず行うこと。 レポート80%：報告書の目的や意義、作成の基本を学び、期間内での作成と提出を義務づけ、報告書の重要性を認識する。提出されたレポートを添削し返却することにより、次回のレポート作成に活かせるようにする。また、必要に応じ個別にレポート作成指導を行う。レポートは提出期限を厳守すること。 プレゼンテーション20%：人前で話をすることに慣れ、明瞭な話し方で、伝えたいことを確実に伝えることができる。評価シートを基に助言・指導することでフィードバックを行う。
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	復習を行い、各自知識整理を行うこと。準備学習に必要な学習時間の目安は概ね1時間程度。
教科書・参考書	教科書：「配布実験書」 参考書1：「医用機械工学」医歯薬出版株式会社 臨床工学講座 参考書2：「臨床工学技士標準テキスト」金原出版
オフィス・アワー	月曜日～金曜日、9:00～18:00(講義中は除く)
国家試験出題基準	
履修条件・履修上の注意	スクラブ、靴(白)、白衣(寒い時)を必ず着用すること。Active Academyにて実験書を配布する。配布期間は、前回講義翌日から当該日まで。必ず各自、プリントアウトして講義に持参すること。
アクティブ・ラーニングの実施	グループ・ワーク, 調査学習

講義科目名称： 医療情報処理工学

授業コード： 3C071

英文科目名称：

対象カリキュラム： 2023年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
丸下 洋一			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2023年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		

講義科目名称： 医療情報処理工学実習

授業コード： 3C072

英文科目名称：

対象カリキュラム： 2023年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
丸下 洋一			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2023年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		

講義科目名称： システム工学

授業コード： 3C073

英文科目名称：

対象カリキュラム： 2023年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
磯山 隆			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2023年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		

講義科目名称： システム工学演習

授業コード： 3C074

英文科目名称：

対象カリキュラム： 2023年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	3学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
磯山 隆			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2023年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		

講義科目名称： 医用情報通信工学

授業コード： 3C075

英文科目名称：

対象カリキュラム： 2023年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	3学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
丸下 洋一			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2023年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		

講義科目名称： 医用工学概論

授業コード： 3C076

英文科目名称：

対象カリキュラム： 2023年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
大瀧 和也			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 医用工学と臨床工学 医用工学と臨床工学の変遷、医用工学の位置づけ 第2回 医学的基礎 人体の構造と機能 第3回 電気・電子基礎 医用工学における電気・電子工学の必要性 第4回 電磁気学基礎 電解、磁界、電磁波について 第5回 機械工学基礎 機械工学の考え方、医用機械工学の範囲、機械工学の領域 第6回 制御工学の基礎 制御工学の考え方、制御方式 第7回 生体物性 生体物性の必要性和特徴、性質について 第8回 生体信号と処理 生体信号とその種類、特徴と計測 第9回 生体計測機器Ⅰ 病院で使用されている生体計測機器～生体の電気現象の計測。講義1～8のまとめレポート提出 第10回 生体計測機器Ⅱ 病院で使用されている生体計測機器～生体の物理・化学現象の計測 第11回 画像診断計測 超音波診断装置、X線CT、MRIの原理 第12回 生体機能代行装置 血液浄化装置、体外循環装置、人工呼吸器と周辺機器の種類と概要 第13回 医用治療機器 ペースメーカー、除細動器、電気メスの概要 第14回 医療情報システム 情報の表現と処理、コンピュータの仕組み、通信技術 第15回 医用機器の安全管理 医用電気機器の安全基準と管理、システムと安全、医療ガスと医療ガス安全管理。レポート評価	大瀧 和也 大瀧 和也 大瀧 和也 大瀧 和也 大瀧 和也 大瀧 和也 大瀧 和也 大瀧 和也 大瀧 和也 大瀧 和也 大瀧 和也 大瀧 和也 大瀧 和也 大瀧 和也 大瀧 和也
科目の目的	医療の質の向上と安全な医療の実現に向けて医療工学全体を体系的に学習する。【知識・理解・表現】	
到達目標	臨床工学技士としての幅広い知識・見識を深める。	
関連科目	医用電気工学、医用電子工学、システム工学、医療情報処理工学	
成績評価方法・基準	期末試験で評価：100%	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	授業で学習した内容を十分に理解する必要があるため復習が重要となる。	
教科書・参考書	教科書：臨床工学技士標準テキスト第4版（金原出版）、追加資料ある場合はプリントして当日配布 参考書：特になし	
オフィス・アワー	月曜日～木曜日の午後（16:00～18:00）場所；大瀧研究室	
国家試験出題基準	《専門基礎Ⅱ》-(1)-1-(3)-④	
履修条件・履修上の注意	講義資料は前日迄にActive Academyで配信する	
アクティブ・ラーニングの実施	特になし	

講義科目名称： 人間工学

授業コード： 3C077

英文科目名称：

対象カリキュラム： 2023年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
松岡 雄一郎			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2023年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		

講義科目名称： 医用レーザー工学

授業コード： 3C078

英文科目名称：

対象カリキュラム： 2023年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	2単位	選択
担当教員	担当者		
松岡 雄一郎			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2023年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		

講義科目名称： 医用画像処理工学

授業コード： 3C079

英文科目名称：

対象カリキュラム： 2023年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	2単位	選択
担当教員	担当者		
丸山 星			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2023年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		

講義科目名称： 生体物性工学

授業コード： 3C080

英文科目名称：

対象カリキュラム： 2023年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
丸下 洋一			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2023年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		

講義科目名称： 医用材料工学

授業コード： 3C081

英文科目名称：

対象カリキュラム： 2023年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	3学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
丸下 洋一			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2023年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		

講義科目名称： 医用機器学概論

授業コード： 3C082

英文科目名称：

対象カリキュラム： 2023年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
大瀧 和也			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 医用機器の役割 治療の意義と目標、医療機器の役割 第2回 医用システムと医用機器 医用施設設備、手術室、集中治療室のシステムと医療機器との関連 第3回 医用機器と安全 医用機器の適応安全と信頼、エネルギーの安全限界 第4回 生体監視用機器 生体現象測定記録装置の種類と役割、原理と構成 第5回 電磁波医用機器 電磁波医用機器の種類と役割 第6回 レーザ医用機器 レーザ医用機器の種類と役割 第7回 内視鏡医用機器 内視鏡医用機器の種類と役割 第8回 超音波医用機器 超音波医用機器の種類と役割 第9回 放射線医用機器 放射線医用機器の種類と役割 第10回 生体機能代行補助機器（1） 生体機能代行補助機器の種類と役割、原理と構成（1） 第11回 生体機能代行補助機器（2） 生体機能代行補助機器の種類と役割、原理と構成（2） 第12回 治療関連機器 治療関連機器の種類と役割、原理と構成 第13回 画像診断・治療システム関連 画像診断装置の種類と役割 第14回 医用検査機器関連 医用検査機器の種類と役割 第15回 在宅医療機器関連 在宅医療機器の種類と役割	大瀧 和也 大瀧 和也 大瀧 和也 大瀧 和也 大瀧 和也 大瀧 和也 大瀧 和也 大瀧 和也 大瀧 和也 大瀧 和也 大瀧 和也 大瀧 和也 大瀧 和也 大瀧 和也 大瀧 和也 大瀧 和也
科目の目的	医用機器の全体像を把握する。【知識・理解・表現】	
到達目標	医用工学の臨床応用として、臨床現場での医用機器と臨床技術の関連を理解し、医用機器の役割を学ぶ。	
関連科目	生体計測装置学、計測工学、医用治療機器学、放射線工学概論	
成績評価方法・基準	期末試験：100%	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	授業で学習した内容を十分に理解するため復習が重要となる。	
教科書・参考書	教科書：MEの基礎知識と安全管理 第7版（南江堂）、追加資料ある場合には当日配布	
オフィス・アワー	月曜日～木曜日の午後（16:00～18:00） 場所；大瀧研究室	
国家試験出題基準	≪専門Ⅱ≫-(1)-1-(1) ≪専門Ⅳ≫-(1)-2-(1)	
履修条件・履修上の注意	講義資料は前日までにActive Academyにて配布	
アクティブ・ラーニングの実施	特になし	

講義科目名称： 医用治療機器学

授業コード： 3C083

英文科目名称：

対象カリキュラム： 2023年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
西村 裕介			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2023年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		

講義科目名称： 医用治療機器学演習

授業コード： 3C084

英文科目名称：

対象カリキュラム： 2023年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
西村 裕介			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2023年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		

講義科目名称： 生体計測装置学

授業コード： 3C085

英文科目名称：

対象カリキュラム： 2023年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
島崎 直也			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2023年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		

講義科目名称： 生体計測装置学演習

授業コード： 3C086

英文科目名称：

対象カリキュラム： 2023年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
島崎 直也			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2023年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		

講義科目名称： 臨床支援技術学

授業コード： 3C087

英文科目名称：

対象カリキュラム： 2023年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	3学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
齋藤 慎			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2023年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		

講義科目名称： 臨床支援技術学実習

授業コード： 3C088

英文科目名称：

対象カリキュラム： 2023年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	3学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
齋藤 慎			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2023年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		

講義科目名称： 生体機能代行技術学（呼吸）

授業コード： 3C089

英文科目名称：

対象カリキュラム： 2023年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
近土 真由美			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2023年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		

講義科目名称： 生体機能代行技術学（循環）

授業コード： 3C090

英文科目名称：

対象カリキュラム： 2023年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
齋藤 慎			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2023年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		

講義科目名称： 生体機能代行技術学（代謝）

授業コード： 3C091

英文科目名称：

対象カリキュラム： 2023年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
大瀨 和也			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2023年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		

講義科目名称： 呼吸療法技術学

授業コード： 3C092

英文科目名称：

対象カリキュラム： 2023年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
近土 真由美			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2023年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		

講義科目名称： 呼吸療法技術学実習

授業コード： 3C093

英文科目名称：

対象カリキュラム： 2023年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	3学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
近土 真由美			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2023年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		

講義科目名称： 体外循環技術学

授業コード： 3C094

英文科目名称：

対象カリキュラム： 2023年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
齋藤 慎			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2023年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		

講義科目名称： 体外循環技術学実習

授業コード： 3C095

英文科目名称：

対象カリキュラム： 2023年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	3学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
齋藤 慎			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2023年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		

講義科目名称： 血液浄化療法技術学

授業コード： 3C096

英文科目名称：

対象カリキュラム： 2023年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
近土 真由美			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2023年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		

講義科目名称： 血液浄化療法技術学実習

授業コード： 3C097

英文科目名称：

対象カリキュラム： 2023年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	3学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
近土 真由美			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2023年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		

講義科目名称： 医用機器安全管理学 I

授業コード： 3C098

英文科目名称：

対象カリキュラム： 2023年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
島崎 直也			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2023年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		

講義科目名称： 医用機器安全管理学Ⅱ

授業コード： 3C099

英文科目名称：

対象カリキュラム： 2023年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
大瀨 和也			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2023年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		

講義科目名称： 医用機器安全管理学実習

授業コード： 3C100

英文科目名称：

対象カリキュラム： 2023年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
島崎 直也			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2023年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		

講義科目名称： 医療安全工学

授業コード： 3C101

英文科目名称：

対象カリキュラム： 2023年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	2単位	選択
担当教員	担当者		
西村 裕介			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2023年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		

講義科目名称： 生体計測装置学実習

授業コード： 3C102

英文科目名称：

対象カリキュラム： 2023年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
島崎 直也			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2023年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		

講義科目名称： 医用治療機器学実習

授業コード： 3C103

英文科目名称：

対象カリキュラム： 2023年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
西村 裕介			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2023年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		

講義科目名称： 臨床工学関係法規

授業コード： 3C104

英文科目名称：

対象カリキュラム： 2023年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	3学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
齋藤 慎			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2023年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		

講義科目名称： 臨床医学総論 I

授業コード： 3C105

英文科目名称：

対象カリキュラム： 2023年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
湯本 真人			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2023年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		

講義科目名称： 臨床医学総論Ⅱ

授業コード： 3C106

英文科目名称：

対象カリキュラム： 2023年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
湯本 真人			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2023年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		

講義科目名称： 臨床医学総論Ⅲ

授業コード： 3C107

英文科目名称：

対象カリキュラム： 2023年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
白井 達也			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2023年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		

講義科目名称： 臨床医学総論IV

授業コード： 3C108

英文科目名称：

対象カリキュラム： 2023年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	3学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
木村 博一			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2023年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		

講義科目名称： 救急救命医学

授業コード： 3C109

英文科目名称：

対象カリキュラム： 2023年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	2単位	選択
担当教員	担当者		
西村 裕介			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2023年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		

講義科目名称： 総合実習

授業コード： 3C110

英文科目名称：

対象カリキュラム： 2023年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	4学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
大瀨 和也			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2023年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		

講義科目名称： 臨床実習

授業コード： 3C111

英文科目名称：

対象カリキュラム： 2023年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	4学年	7単位	必修
担当教員	担当者		
大瀨 和也			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2023年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		

講義科目名称： 臨床工学総合演習 I

授業コード： 3C112

英文科目名称：

対象カリキュラム： 2023年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	3学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
近土 真由美			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2023年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		

講義科目名称： 臨床工学総合演習Ⅱ

授業コード： 3C113

英文科目名称：

対象カリキュラム： 2023年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	4学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
大瀨 和也			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2023年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		

講義科目名称： 臨床工学英文講読

授業コード： 3C114

英文科目名称：

対象カリキュラム： 2023年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	3学年	2単位	選択
担当教員	担当者		
湯本 真人			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2023年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		

講義科目名称： 臨床工学研究セミナー

授業コード： 3C115

英文科目名称：

対象カリキュラム： 2023年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	4学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
花田 三四郎			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2023年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		

講義科目名称： 卒業研究

授業コード： 3C116

英文科目名称：

対象カリキュラム： 2023年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	4学年	4単位	必修
担当教員	担当者		
大瀨 和也			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2023年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		